

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1)	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
①	学生の確保の見通し	1
	ア 定員充足の見込み	1
	イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	4
	ウ 学生納付金の設定の考え方	9
②	学生確保に向けた具体的な取組状況	10
(2)	人材需要の動向等社会の要請	
①	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	13
②	上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	13

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1. 入学定員 40 名に設定した経緯

近年、高齢化社会の到来や医療の高度化、社会や保健医療を取り巻く環境の変化に伴い、質の高い医療専門職の必要性が高まるとともに、精巧・精密な医療機器や医療システムが医療現場に必要不可欠となっている。

そのため、チーム医療の一員として、より専門的な知識と技術を備え、医療の質、安全性、適正化、効率化などの期待に応えられるとともに、他の医療従事者と協調し活躍できる実践的な能力を身につけた臨床工学技士の養成が喫緊の課題であり、4年制の大学で教育養成することは社会的使命の一つであり、当該医療テクノロジー学科を設置することの意義は大きいと考える。

そのような中で、千葉県内における臨床工学技士養成施設の状況や、大学の医療・保健系学部等における入学志願動向、本学近隣大学における医療・保健系学部等の入学志願状況及び本学が医療テクノロジー学科を設置した場合の志願者確保の見通しに関する調査結果、及び卒業生の採用意向に関する調査結果、さらには本学のキャンパスが最寄り駅である海浜幕張に近接し、都内へのアクセスにも恵まれた地理的条件下にあることを踏まえ、幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科の入学定員を40人として設定することとした。詳細な説明は以下「イ」の項目で行う。

2. 既設学部学科の定員未充足の原因分析等

1) 管理栄養学部管理栄養学科

平成30年4月に開設した管理栄養学部管理栄養学科の入学定員を80人と定めたところ、平成30年度の入学者は26人、平成31年度の入学者は44名で入学定員超過率は0.43であった。

本学が管理栄養学部管理栄養学科の学生確保の見通しを確認するために、認可申請時に第三者機関に依頼し実施した高校生アンケート調査の結果、264人が「受験したい」と答えている。また、受験意欲を示した264人に対し合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、101人が「入学したい」、153人が「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した。「入学したい」と回答した高校生101人だけでも、管理栄養学部管理栄養学科が予定する入学定員80人を上回る結果となった。さらに「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した153人を加えると、同学科への入学を具体的に検討している者は計254人となり、入学定員の約3.1倍となる。

高校生アンケート調査は埼玉県を中心とする高校 33 校の 4,116 人から回答を得たが、今後の広報活動を通して、高校生アンケート調査を実施していない高校においても管理栄養学部管理栄養学科が認知されることで、アンケート結果を上回る志願者および入学者確保は可能であると考えた。

また、埼玉県内における管理栄養士養成機関（4年制大学）は平成31年4月現在4校（本学を除く）で関連学科を合わせ総入学定員は680人であるが、これら管理栄養士養成機関における平成31年度の志願者状況をみると、志願者総数2,139人に対し合格者896人と合格者に対する志願倍率は約2.4倍となっている。また、定員充足（入学者数/入学定員）の状況についてみると、平成31年度の入学者総数は644人で平均の定員充足率は90.3%となっている。このことから18歳人口の減少期においても定員充足率に高低はあるものの、安定した志願者数の確保を維持しており、埼玉県内の高校生の進学需要は継続して高いことが伺える。

埼玉県における管理栄養士を養成する大学の入学者状況

大学名	入学定員 (人)	志願者 (人)	合格者 (人)	入学者 (人)	定員充足率 入学者/入定
女子栄養大学	300	1,273	372	336	112.0%
人間総合科学大学	160	210	146	94	58.8%
城西大学	100	212	175	73	73.0%
十文字学園女子大学	120	444	203	141	117.5%
合計	680	2,139	896	644	平均 90.3%

出典：令和元年5月現在の各大学ホームページ資料より

また、本学への志願者においても平成30年度に44人であったが、平成31年度には86人、令和2年度は95人（申請時点）と前年度比1.1倍に増加している。

2) 幕張ヒューマンケア学部理学療法学科

平成31年4月に開設した幕張ヒューマンケア学部理学療法学科の入学定員を80人と定めたところ、開学初年度の入学者は43人で、入学定員超過率は0.53となった。

本学が幕張ヒューマンケア学部理学療法学科の学生確保の見通しを確認するため、認可申請時に第三者機関に依頼しアンケート調査を実施した。

本アンケート調査は、千葉県下にあるすべての高等学校（190校）、東京都の千葉県に隣接する地域内（通常の通学が可能な地域）の高等学校（48校）及び本学深谷キャンパス（看護学科）で実績のある学校（125校）を対象に、第三者機関に依頼して実施した。

回答生徒数 4,563 人中、理学療法学科を受験したいという者は 317 人（全体の 6.9%）。そのうち「合格した場合、入学したい」と回答した者は 129 人（受験希望者の 40.7%）であった。この数は設定している入学定員 80 人を上回る員数である。またこのほかに 185 人（58.4%）が「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」と示唆しており、さらに入学が増える可能性もあり、更に依頼した高等学校 363 校のうち、アンケートを実施した学校は 50 校で実施率は 13.8% で、アンケートの実施に至っていない高等学校が多数あったこと、また実施した学校であっても全生徒が調査に参加していないことなども考えられることから、これらの調査対象以外の高校生も志願してくると予測した。

上記の結果から入学定員の確保は十分可能であると考え、幕張ヒューマンケア学部理学療法学科の学生確保は中長期的にも問題はないと考えた。

また、千葉県内における理学療法士養成学校（4 年制大学）は、平成 30 年 4 月現在 6 校で、総入学定員は 385 人であるが、これら理学療法士養成機関における平成 31 年度の志願者状況をみると、志願者総数 1,515 人に対し合格者数 690 人と合格者に対する志願倍率は約 2.19 倍という状況となっている。

また、定員充足（入学者数/入学定員）の状況についてみると、平成 31 年度の入学者総数は 393 人で各大学平均の定員充足率は 102.3% であり、18 歳人口の減少期においても高校生の本学科に対する興味・関心や進学需要の高いことが伺える。

千葉県における理学療法士を養成する大学の入学者状況

大学名	入学定員 (人)	志願者 (人)	合格者 (人)	入学者 (人)	定員充足率 入学者/入定
県立保健医療大学	25	95	27	25	100.0%
了徳寺大学	80	276	143	94	117.5%
帝京平成大学	80	313	155	65	81.3%
城西国際大学	80	301	162	80	100.0%
植草学園大学	40	86	61	43	107.5%
国際医療福祉大学	80	444	142	86	107.5%
合計	385	1,515	690	393	平均 102.3%

出典：平成 31 年 5 月現在の各大学ホームページ資料

さらに、本学への平成 31 年度の志願者は 79 人であったが、令和 2 年度は 122 名（申請時点）と前年比 1.54 倍に増加している。

上記の 1)、2) とおり学生のニーズが高い状況にもかかわらず両学科が開学初年度から入学定員を下回った原因については、本学ウェブサイトにおいて、特設ペ

ージを開設するなど新たな募集活動の展開により本学部・学科を広く PR したが、コンテンツの充実という点では十分であったとは言い難い状況にあった。また、その他、受験生、高校教員等、それぞれに向けた形での情報をまとめたパンフレット・チラシなどの作成を行ったが、“管理栄養士”“理学療法士”の魅力伝えるには十分な効果が発揮できなかったことが挙げられる。

さらに、雑誌、WEB 媒体などに広告を掲載したが、歴史の浅い本学の新設学部学科を高校生に認知させるには効果不十分であったことも否めず、全般としてなお広報不足に対する反省が求められる。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1. 18 歳人口の動向と大学進学率

先ず大学進学年齢である 18 歳人口については、リクルート進学総研マーケットリポートによれば、全国的に 2019 年から 2031 年にかけて、1,175 千人から 1,033 千人と 88.0%まで減少する見通しである。次に地域的にみると、千葉県の時同期の 18 歳人口については、55,425 人から 50,116 人と 90.4%まで減少するものの減少幅は全国と比較して穏やかな傾向にある（資料 1）。

一方で千葉県の大学等進学率については、文部科学省「学校基本調査」によれば、平成 26 年 3 月から令和元年 3 月までの過去 6 年間の調査において概ね 55%前後で、都道府県における順位は 13 位前後での推移となっており、概ね全国平均と同等以上を確保しており、大学進学を志向する潜在的な需要があると考えている（資料 2）。

人口と大学進学率の推移の数字の動向を考え併せると、今後も引き続き安定的に学生数を確保できる素地があるものとする。

【資料 1：18 歳人口の見通し】

【資料 2：大学進学率 千葉県の順位（平成 26 年度～令和元年度）】

2. 全国的な志願状況

4 年制大学の保健系、理・工学系学部全体の数はそれぞれ平成 27 年度の 192 学部、147 学部から毎年度増加し、平成 31 年度には 237 学部、151 学部となっており、これに伴い入学定員も増加している（資料 3）。また、そのうち臨床工学技士を養成する医療技術系学部（ここでは資料 4～資料 6 に示す 6 学部を主たる学部として想定）の数も、平成 27 年度の 53 学部から毎年度増加し、平成 31 年度には 63 学部となっており、入学定員も増加している（資料 4）。このことから、4 年制大学における臨床工学技士の養成数が増加傾向にあることがわかる。

調査対象学部の志願者数合計は、平成 27 年度の 74,857 人から、平成 31 年度には 86,227 人と上昇している（資料 5）。また、入学定員充足率（全体）も平成 27 年度

110.33%から平成31年度101.07%と全て100%以上で推移していることから、4年制大学の臨床工学技士養成学部に対する、安定した一定の進学ニーズがあることがわかる（資料6）。

臨床工学技士における国家試験受験者数及び合格者数の推移では、平成27年度から平成31年度にかけて一定した数を保持しており、臨床工学技士を目指す人材の安定したニーズがあることが分かる（資料7）。

【資料3：全国 保健系学部及び理・工学系学部 学部数・入学定員（平成27年度～31年度）】

【資料4：全国 臨床工学技士養成学部 学部数・入学定員（平成27年度～31年度）】

【資料5：臨床工学技士養成学部 志願者動向（平成27年度～31年度）】

【資料6：全国 臨床工学技士養成学部 入学者動向（平成27年度～31年度）】

【資料7：平成27年から5年間の臨床工学技士国家試験合格者推移】

3. 大学の医療・保健系学部等における入学者動向

近年の大学等への進学動向を見たとき、高校生の資格志向の高まりや、就職の確実性から、医療・保健系学部への進学希望度は高く、日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」に記載されている「主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」において、医療・保健系学部のうち看護系学部・リハビリテーション学部・栄養学部を除いた場合で見ても、志願倍率や入学定員充足率が十分なものである傾向が窺える。

医療・保健系学部（看護系学部・リハビリテーション学部・栄養学部を除く）の志願者・入学者動向

（単位：人・%・倍）

年度	① 学部数	② 入学定員	③ 志願者数	④ 入学者数	⑤ 入学定員充足率 (④/②)	⑥ 志願倍率 (③/②)
平成31年度	113	22,952	117,650	23,098	100.64	5.13
平成30年度	104	22,389	115,374	22,158	98.97	5.15
平成29年度	101	21,889	118,058	22,023	100.61	5.39
平成28年度	96	20,024	113,570	20,647	103.11	5.67

出典：「私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団、私学経営情報センター）

より抜粋集計。

「5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」の「保健系」から「看護学部」「リハビリテーション学部」

「栄養学部」「看護福祉学部」「看護栄養学部」の数値を除いて算出。

4. 近隣大学における医療・保健系学部等の入学志願者状況

臨床工学系学科を設置している近隣の大学の過去 4 年間の志願状況等を見ると、志願倍率は 4.38 倍、4.52 倍、4.64 倍、4.36 倍と十分な志願者を確保しており、安定的に入学定員を満たしていることから定員充足に問題はないものとする（資料 8）。

【資料 8：臨床工学系学科を設置している近隣大学の志願倍率及び入学定員充足率】

5. 千葉県内の臨床工学技士養成施設の現状

現在、千葉県内の臨床工学技士養成校は、銚子市に 1 校（入学定員 80 人 3 コースの中の 1 コース）のみであり、本学科の開設地である幕張新都心を中心とした人口の集中する周辺の湾岸エリアに設置することは、千葉県内の臨床工学技士に対する地域的な人材需要に対応する上で大きな役割を果たすことになるものと考えている。一方、千葉県の人口 10 万人当たりの臨床工学技士養成校の入学定員数は 1.3 人（全国 31 位）であり、全国平均と比べて極めて劣後している。千葉県内の臨床工学技士を充実させるためには、養成校数とともに定員の増加が必要不可欠であると考えている（資料 9）。

【資料 9：平成 30 年度 都道府県別人口 10 万人当たり臨床工学技士養成校定員数】

6. 学生確保の見通しに関する高校生アンケート調査結果の概要

本学幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科への入学意向を把握するため、近隣に所在する高等学校、または東都大学に進学実績のある高等学校を中心に千葉県及び東京都、埼玉県に隣接する高等学校の在学者で令和 3 年度大学進学対象となる高校 2 年生の生徒を対象に、第三者機関である「高等教育総合研究所」を介してアンケートを実施した。

調査は、令和元年 12 月から 3 月の期間で行った。調査方法は、千葉県内を中心とした高等学校 359 校に対してアンケート用紙及び幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科の概要を示したリーフレットを配布し、対象者が教室等で直接記入する方法により実施した。アンケートの回答用紙は高校から上記第三者機関へ直接郵送願い、その集計も第三者機関が行っている。

（結果の概要）

【資料 10：「学生確保の見通しに関する高校生アンケート調査」報告書 参照】

本アンケート調査は、千葉県下にあるすべての高等学校（188 校）、東京都の千葉県に隣接する地域内（通常の通学が可能な地域）の高等学校（49 校）及び本学深谷キャンパス（看護学科）で実績のある学校（122 校）を対象に、第三者機関に依頼し

学生確保の見通し等を記載した書類

て実施した。調査概要は以下のとおりである。

調査期間	令和元年12月～3月（3か月間）
調査対象	千葉県全県及び隣接する東京都の一部及び埼玉県下の実績ある高等学校合計359校のうち令和3年3月に高等学校を卒業予定の生徒（調査時点では高校2年生）
調査方法	調査対象の高等学校に、幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）の概要説明等を記載したアンケート用紙（無記名方式）を送付し、各校の教員の監督の下で実施した。
調査内容	設問数は8問すべて選択方式。主な設問等詳細は下記参照
有効回収件数	高等学校数27校 生徒数2,926人

上記回答生徒数2,926人中、医療テクノロジー学科を受験したいという者は98人（全体の約3.3%）。そのうち「合格した場合、入学したい」と回答した者は45人（受験希望者の45.9%）であった。この数は設定している入学定員40人を上回る人数である。またこのほかに52人（53.1%）が「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」と示唆しており、さらに入学者が増える可能性がある。

問5 あなたは東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」を受験したいと思いますか？

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	98	3.3%
2	受験しない	2,767	94.6%
	無回答	61	2.1%
	計	2,926	100.0%

問7 あなたは東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」に合格した場合、入学したいと思いますか？

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	45	45.9%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	52	53.1%
	無回答	1	1.0%
	計	98	100.0%

なお、今回の調査では、依頼した高等学校 359 校のうち、アンケートを実施した学校は 27 校で実施率は 7.5%となったが、アンケートの実施に至っていない高等学校が多数あること、また実施した学校であっても全生徒が調査に参加していないことなども考えられることから、これらの調査対象以外の高校生も志願してくることが予測される。

上記の結果から入学定員の確保は十分可能であると考えている。本調査の結果及び上述した様々な学生確保の見込みと根拠からも、新学科の学生確保は中長期的にも問題はないと考える。

7. 医療人養成のための 4 年制専門大学としての看護師の養成実績

本学園は、東京都に隣接する近県で深刻な医療関係人材の不足を来たしているところから、当該地域からの要請に応えるため、平成 21 年 4 月に埼玉県深谷市に東都医療大学（現東都大学）を開学した。大学開設以来、ヒューマンケア学部の下で、看護師の人材育成と地位向上を目指し、有為な卒業生を社会に送り出し、大学教育を通じたかかる人材の充足と地域の高度な医療福祉の実現に向けて貢献してきた。これまで輩出した卒業生は 672 人で、関東地方を中心に多数の医療機関で活躍している。国家試験合格率は常に高水準を維持しており（資料 11）、平成 30 年度に開設の幕張ヒューマンケア学部においても同様の教育方針、カリキュラムで臨んでおり、同水準の教育が可能となっている。

また、既設学部の就職率は 100%に近い水準を保っており（資料 11）、送り込んだ医療関係施設は延べ約 200 を数え、そうした実績とその評価が、生徒の関心に繋がっているものと考えている。

なお、本学既設のヒューマンケア学部看護学科の入試にかかる志願者数は、平成 25 年度から 31 年度までの 7 年間をみると、入学定員 100 人のところ、458 人、440 人、426 人、457 人、447 人、335 人、331 人と入学定員を大きく上回る志願者数を安定的に確保するとともに、安定した定員充足率を維持している（資料 12）。この結果は医療専門職を養成する本学に対する評価の高さであると考えている。

【資料 11：本学既設学部の看護師国家試験合格率（新卒者）及び就職状況】

【資料 12：本学既設学部（ヒューマンケア学部看護学科）の入試状況】

8. 優れた立地と魅力あふれるキャンパスの教育環境

構想中の医療テクノロジー学科は、わが国を代表する空の玄関である成田空港と東京都心とのほぼ中間に位置し、アクセスに優れた未来型国際都市「幕張新都心」に開設を予定している。

開設予定のキャンパスは、JR京葉線海浜幕張駅（徒歩8分）、JR総武線・千葉京成線各幕張駅（徒歩18分）からのアクセスが可能であり、各鉄道線ともに、武蔵野線、東武線、地下鉄、他の京成線など他の多くの鉄道線やバス路線と接続しており、千葉県を中心に東京都、埼玉県、茨城県との隣接地域まで広大な交通網が整備されている。このことは域内の多数の生徒に進学の動機と機会を広げることになる（資料13,14）。

また同キャンパスは幕張新都心に位置し、同地区には大学が3校、高等学校が3校、専門学校が1校、インターナショナルスクールが1校、さらには7つの公的な研修施設等が立地し、隣接するビジネス地区にはわが国を代表する日本IBM、NTT、富士通、キャノン、イオン等の先端技術や次世代の産業を生み出す研究所やビジネスビルが立ち並んでいる。

新都心には新しい時代のニーズに応える高度な人材を育む学術・教育・研修機能が集中し、新たな教育研究機関を設立するのに相応しい学習環境となっている。

医療テクノロジー学科のキャンパスの眼前には、緑豊かな海浜幕張公園や海辺に接する県立幕張海浜公園が広がり、周囲には幕張メッセや野球場、商業施設が整備され、健全な都市型のキャンパスライフが期待される。幕張新都心とその周辺は湾岸地区の中でも特に人口が集中する地域であり、東京オリンピック開催を控えて、キャンパス予定地の近隣には新たに1万人のニュータウンの建設がすすむなど、教育機関に対する地域全体の需要がさらに高まるものと予想される。

【資料13：構想中の幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科の周辺図】

【資料14：各主要駅から近隣駅までの乗車時間※（※乗車時間には乗換時間も含む）】

9. 医療法人等からの支援

本学の設立母体である学校法人青淵学園は、首都圏に病院等37施設を展開し、総ベッド数約4千床、常勤の看護師数約9百人を擁する特定医療法人大坪会のグループが、医療の教育による社会還元を図る一環として設立された経緯がある。病院などにおける学生の臨地実習への協力や就職面だけでなく、今後の大学の安定的な経営や発展に関し、資金や人材などの側面も通じて支援を得ることができることは本学の何よりの強みであり、このことは大学及び幕張ヒューマンケア学部に対する学生や保護者などのステークホルダーの信頼や安心感の醸成に寄与するものと考えている。

ウ 学生納付金の設定の考え方

本学の学生納付金は、入学金、授業料等の2種類であり、授業料等には教育研究環境を充実させていくための施設設備費や実習費が含まれる。

幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科の学生納付金については、千葉県内にある臨床工学系学科を設置している大学（1校）及び東京都内の先発大学の学納

学生確保の見通し等を記載した書類

金を比較するとともに、本学の既設他学科との整合性も検証したうえで学生の過大な負担を考慮し設定した。

臨床工学系学科を設置している近隣大学の納付金

(単位：円)

大学名	学部学科名	所在地	入学金	授業料	施設・設備費等	諸会費	初年度納付金
東都大学	幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科	千葉県千葉市	250,000	900,000	600,000	49,370	1,799,370
千葉科学大学	危機管理学部保健医療学科	千葉県銚子市	250,000	850,000	550,000	156,900	1,806,900
東京工科大学	医療保健学部臨床工学科	東京都大田区	340,000	1,560,000		23,300	1,923,300
杏林大学	保健学部臨床工学科	東京都三鷹市	250,000	1,150,000	500,000	88,370	1,988,370

出典：各他大学の各学部・学科の納付金は各大学ホームページ掲載情報に基づく（平成30年10月時点）。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

1. 医療テクノロジー学科の具体的な取組

幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科開設に向けて、本学は以下に示す取組を予定している。

1) 学生募集イベントの開催

・特別講演会の開催

受験生・保護者・教育関係者を対象として、本学教員及び外部講師による最新の医療技術や本学の特色についての講演会を無料で開催する。この中では新学科の開設計画について周知するとともに、進学相談にも対応していく。

・進路指導教員への説明会、オープンキャンパスの開催

新学科に対する認知度の向上を図るために進路指導担当の高校教員を対象に説明会を開催する。また受験、進学に対して強い動機づけとなるオープンキャンパスを幕張の地で年度の前半に少なくとも複数回開催する。開催内容は「総合ガイダンス」「入試ガイダンス」「模擬授業・演習」などを実施する。

2) 高等学校等との連携

年間を通じて日々訪問・相談を実施し、両者間の緊密な情報交換に努め、進路指導担当や担任の教員の具体的な指導を効果的にフォローアップできる体制を構築

し、高大連携授業、本学教員による出張授業など、関係を強化する取組みを推進する。

3) 情報媒体の活用

大学のホームページに医療テクノロジー学科開設計画のページを設け、キャンパスを構える幕張の知名度、優れた交通アクセスという点を活かしつつ、新学科に関するより詳しい概要を動画で高校生にわかりやすく紹介するとともに、オープンキャンパスや入試説明会などのイベント紹介、学生募集や受験などについて常に最新の情報を提供する。また電子媒体のみならず、リーフレットやポスター等の印刷媒体についても作成し、広範囲に配布・掲示を行う。

そのほか受験生の利用率の高い進学情報誌やサイトに新学科の情報を掲載し広く情報発信を行っていく。

こうした大学を知ってもらうための方策の中で、とりわけ医療機器の技術のめざましい進歩の中においては、臨床工学技士の主な業務である血液透析業務、人工心肺業務あるいは呼吸治療業務等に関わるテーマについて市民公開講座等を開催することやエリア内の高等学校、中学校に出前講座を行う等の活動が地域との連携を強固なものとするに繋がると確信している。これらの取組みがひいては大学のブランド力を向上させ、魅力ある大学を作り上げ、学生募集活動に結びつくものと考えている。

2. 定員未充足の既設学部学科の学生確保に向けた具体的な取り組み状況

1) 管理栄養学部管理栄養学科

学科単位の取り組み

管理栄養学部管理栄養学科設置に関するニーズ調査を基に、埼玉県を中心とした関東エリアに対する募集広報戦略を策定し、学生募集を展開した。

具体的には、新たに

- ・本学のホームページを全面リニューアルするとともに、新たに動画で高校生にわかりやすく管理栄養学科の情報を提供するなど、情報発信方策の一層の充実強化を図ったこと。
- ・大学卒業・国家資格取得後一定条件を満たした場合に貸与の全額を免除とする本学独自の奨学金制度を設けたこと。
- ・受験生、高校教員等、それぞれに向けた形での情報パンフレット・チラシなどを作成するとともに、受験雑誌やWEB 媒体などにも広告を掲載したこと。
- ・さらに、入試説明会を5回、直接情報提供ができるオープンキャンパスは3回開催し、特に体験型イベントにより多くの高校生や保護者にその魅力を伝えたこと。

- ・また、教職員により訪問履歴や受験実績等を活用しながら、高校・予備校など732校への訪問を実施し、情報交換を一層密にするとともに連携を強化したこと。
 - ・さらに並行して、市民講座などを通じて“管理栄養士とは”を深く理解してもらい、その魅力や存在の重要性を高めていくための活動を行ったこと。
- 以上が新たに、また充実強化して取組んだ事項としてあげられる。

2) 幕張ヒューマンケア学部理学療法学科

学科単位の取り組み

幕張ヒューマンケア学部理学療法学科設置に関するニーズ調査を基に、千葉県を中心とした関東エリアに対する広報戦略を策定し、学生募集活動を展開した。

具体的には、新たに

- ・本学のホームページを全面リニューアルするとともに、新たに動画で高校生にわかりやすく理学療法学科の情報を提供するなど、情報発信方策の充実強化を図ったこと。
 - ・大学卒業・国家資格取得後一定条件を満たした場合に貸与の全額を免除とする本学独自の奨学金制度を設けたこと。
 - ・受験生、高校教員等、それぞれに向けた形での情報パンフレット・チラシなどを作成するとともに、受験雑誌やWEB 媒体などにも広告を掲載したこと。
 - ・さらに、入試説明会を5回、直接情報提供ができるオープンキャンパスは3回開催し、特に体験型イベントにより多くの高校生や保護者にその魅力を伝えたこと。
 - ・また、教職員により訪問履歴や受験実績等を活用しながら、高校・予備校など220校への訪問を実施し、情報交換を一層密にするとともに連携を強化したことに加え、高校の進路指導の先生を対象とした大学説明会も開催した。
 - ・さらに並行して、市民講座などを通じて“理学療法士とは”を深く理解してもらい、その魅力や存在の重要性を高めていくための活動を行ったこと。
- 以上が新たに、また充実強化を目指して取組んだ事項である。

また、今後は上記に加え、両学科の動画によるわかりやすい紹介など、本学ウェブサイトのコンテンツの充実を継続するとともに、最新の情報提供を常に心掛ける。

具体的には“管理栄養士”“理学療法士”の魅力をこれまで以上に伝えるため、実際の学生の登場による臨場感あるコンテンツや高校生あるいは進路指導担当教員に直接情報提供のできる機会を増やし、興味・関心の度合いを高められる方策に取り組む。さらに、本学では、多様な入試方法を実施していることから、AO入試、推

薦入試、一般入試、センター利用入試及び社会人入試などの入試制度について広く周知を図っていく。とりわけ A0 入試、推薦入試においては国語の読解力を問うものとしており、文系・理系どちらの受験生からも受験しやすいように設定していること、また一般入試（第一期）では、受験生の利便性に配慮し、本学の深谷・幕張キャンパスの他に東京会場を設けていることなどについての案内も充実・強化していく。

（２） 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

1) 本学の目的

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、医療に関する幅広い専門知識と技術を教授研究するとともに、人間性、倫理性、協調性を備えた人材を育成し、地域の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。

2) 教育理念（養成する人材像）

幕張ヒューマンケア学部は、生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解するとともに、学問的な基礎の上に専門的な実践能力をもち、地域の保健、医療、福祉の担い手としてのリーダーシップを発揮し、学問の発展にも貢献できる医療人を育成する。

3) 教育目標（教育研究上の目的）

上記1)、2)に則り、医療テクノロジー学科では次のような力を備えた人材を養成する。

- ・生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解できる豊かな人間力
- ・周りを取り巻く文化と社会に関する知識とその理解を可能とする知力
- ・基礎医学、基礎工学を身に着け、高度先進医療に貢献できる技術力
- ・チーム医療の一員として他の医療分野と協力し、患者との信頼関係を築くことのできるコミュニケーション力

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

（ア）全国的な医療技術者の需給見通し

現在の臨床工学技士の業務は、昭和63年の発足当時の血液透析、体外循環業務主体から血液浄化、人工心肺、呼吸治療、手術領域、集中治療領域、心・血管カテーテル、高気圧酸素治療、除細動器保守管理、ペースメーカー、植込み型除細動器及び保守

点検管理業務等へと多岐にわたり、さらに昨今問題となりつつある医療情報のセキュリティ等、社会のニーズは急速に拡大している。

このように臨床工学技士のコメディカル分野における工学的専門性・独立性が強く求められるようになった今日においては、病院内等において工学的知識と技術を必要とする多くの業務を担う人材が切に求められており、その需要は増大していくと考えている。

厚生労働省の「職業別一般職業紹介状況調査によると「医療技術者」の有効求人倍率は平成 30 年 12 月の時点で 3.43 となっており、全職業の平均が 1.57 であることを勘案すると、実際に現時点においても供給が需要に追いついていないことがわかる。この調査結果から、全国の中長期の視点でも医療技術者に対する高い人材需要に変化はないものとする。

医療技術者の有効求人倍率

職業	有効求人倍率（対前年同月差）
職業計	1.57（ 0.05）
専門的・技術的職業	2.46（ 0.05）
医療技術者	3.43（ 0.12）
保健師、助産師等	2.59（ -0.10）

出典：厚生労働省「職業別一般職業紹介状況[実数]（常用（含パート））（令和 2 年 1 月）」

2) 人材需要に関する見通しとその根拠

厚生労働省「医療施設（動態）調査・病院報告」によると、全国の臨床工学技士の病院における従事者数は、平成 20 年の 11,931 人から、平成 29 年には 21,184 人まで増加しており、病院に従事する臨床工学技士は年々増加し続けている（資料 15）ことと併せ、臨床工学技士国家試験の受験者数も概ね増加傾向にある（資料 16）。

このことは、業務の拡大や血液透析患者数の増加（資料 17）による臨床工学技士の需要の高まりと予測できるが、臨床工学技士の対透析患者比を都道府県別でみた場合、千葉県では一人当たり 18.1 人と全国平均にあるもののその負担は大きいことが見てとれる（資料 18）。併せて、臨床工学技士を県別の人口 10 万人対比でみると 13.8（全国 36 位）と、他の都道府県と比べて人員の不足は大きな課題となっている（資料 19）。

【資料 15：臨床工学技士の病院従事者数】【資料 16：臨床工学技士国家試験 受験者数】

【資料 17：慢性透析患者数の推移】【資料 18：透析患者数（都道府県別）と臨床工学技士数】

【資料 19：臨床工学技士の県別人口 10 万人対比（平成 27 年度）】

3) 千葉県内の臨床工学技士養成施設の現状

資料9のとおり千葉県の人口10万人当たりの臨床工学技士養成校の入学定員数は1.3人（全国31位）であり、全国平均と比べて極めて劣後している。千葉県内の臨床工学技士を充実させるためには、養成校数とともに定員の増加が必要不可欠であると考えている。

現在、千葉県内の臨床工学技士養成校の所在地は、銚子市に1校（入学定員80人の中の1コース）のみであり、本学科の開設地である幕張新都心を中心とした人口の集中する周辺の湾岸エリアに設置することは、千葉県内の臨床工学技士に対する地域的な人材需要に対応する上で大きな役割を果たすことになるものと考えている。

4) 卒業生の就職の見通しに関するアンケート調査結果の概要

【資料20：「卒業生の就職の見通しに関するアンケート調査」報告書 参照】

本アンケート調査は、将来本学科の卒業生の就職が想定される千葉県を主とする地域の医療関連施設下にある709機関・団体を対象に、第三者機関に依頼して実施した。調査概要は以下のとおりである。

調査期間	令和元年12月～令和2年2月（3か月間）
調査対象	千葉県及び東京都の病院をはじめ、臨床工学技士の業務を有する診療所・クリニック、社会福祉施設、既設のヒューマンケア学部において実習の受け入れや採用実績のある関東圏の医療施設、計709機関・団体。
調査方法	上記の対象機関・団体の採用担当者宛てに、医療テクノロジー学科の説明が入ったアンケート用紙を送付し、回答・返信を求めた。
調査内容	設問数は全10問で、うち9問が選択式で、1問は記述式とした。
有効回収件数	配布件数709件中、回答数は59件（アンケート回収率：8.3%）

全回答の約6割が本学科を開設する千葉県下の医療関連機関であり、また全体の8割が病院で占められている。

- ① 全回答の約6割の機関・団体が卒業生の臨床工学技士の採用の意向を示しており、更に本学科の卒業生についても約6割が採用意欲を示している。一方で、全体の約3割の機関・団体が臨床工学技士は不足していると回答しており、これからも一定数の需要があることが見込まれる。
- ② 本学が構想中の幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科に関する質問に関して、養成する人材については全回答の71%の機関・団体が、社会的にニーズが高いと回答

している。また本学科の卒業生については、全回答の約3分の2の機関・団体が採用意欲を示し、さらに採用可能数を尋ねたところ「採用したい」と回答した機関・団体から41人の回答があり、さらに「採用を検討したい」と回答した機関・団体の採用可能人数の22人を加えると本学が予定する入学定員40人を上回る結果となった。

また、本ニーズ調査時の自由意見欄では、病院関係者から本学への人材育成への期待の大きさが感じられる意見が多く寄せられた。

ニーズ調査時の自由意見欄に記載された本学科への期待意見

病院	・ここ数年MEが思うように採用できずに困っています。宜しく願いいたします。
病院	深刻な若い医療人材を確保していくために必要である。
病院	コミュニケーション能力の高い人材を期待しております。
病院	臨床工学技士のみならず、病院運営に積極的にできる人材の育成を行ってほしい。
病院	臨床工学技士は急性期病院に欠かせない存在となっています。貴学学生が一人でも多く当院に実習に来ていただけたらと思います。
診療所	千葉市内に臨床工学技士を養成する大学ができたことで採用しやすくなるのでありがたいです。

本学医療テクノロジー学科の開設は、現状の分析や調査の結果から見ても、臨床工学技士の人材需要に応えるものであり、社会的、地域的に意義のある取組みであると考えている。

なお、本学の設立母体である学校法人青淵学園は、首都圏に病院等37施設を展開し、総ベッド数4千床を有する特定医療法人大坪会のグループにより、設立された経緯があり、学生の臨地実習への協力とともに就職面についても支援を得ることができ、何よりの強みとなっている。

上記（1）、（2）を踏まえた新学科開設の意義

千葉県は人口当たりの臨床工学技士数が全国的にみても充分でなく、かつ臨床工学技士の養成数も極めて低位に留まっている。加えて、千葉県を含む首都圏において、後期高齢者数の増加等による需要増が避けられない状況下において、目下の対応はもとより中長期の視点においても、臨床工学技士に対する高い人材需要は継続していくことから、果たすべき人材育成と排出は喫緊の課題である。

本学医療テクノロジー学科の開設は、このような臨床工学技士の人材需要に応えるものであり、社会的、地域的に意義のある取組みであると考えている。

以上

学生確保の見通し等を記載した書類
資料の目次

- 資料 1 : 18歳人口の見通し
- 資料 2 : 大学進学率 千葉県の順位 (平成26年度～令和元年度)
- 資料 3 : 全国 保健系学部及び理・工学系学部
学部数・入学定員 (平成27年度～31年度)
- 資料 4 : 全国 臨床工学技士養成学部 学部数・入学定員 (平成27年度～31年度)
- 資料 5 : 臨床工学技士養成学部 志願者動向 (平成27年度～31年度)
- 資料 6 : 全国 臨床工学技士養成学部 入学者動向 (平成27年度～31年度)
- 資料 7 : 平成27年から5年間の臨床工学技士国家試験合格者推移
- 資料 8 : 臨床工学系学科を設置している近隣大学の志願倍率及び入学定員充足率
- 資料 9 : 平成30年度 都道府県別人口10万人当たり臨床工学技士養成校定員数
- 資料 10 : 設置構想に係るニーズアセスメント調査
(高校生アンケート調査) 報告書
- 資料 11 : 本学既設学部の看護師国家試験合格率 (新卒者) 及び就職状況
- 資料 12 : 本学既設学部(ヒューマンケア学部看護学科) の入試状況
- 資料 13 : 構想中の幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科の周辺図
- 資料 14 : 各主要駅から近隣駅までの乗車時間※ (※乗車時間には乗換時間も含む)
- 資料 15 : 臨床工学技士の病院従事者数
- 資料 16 : 臨床工学技士国家試験 受験者数
- 資料 17 : 慢性透析患者数の推移
- 資料 18 : 透析患者数 (都道府県別) と臨床工学技士数
- 資料 19 : 臨床工学技士の県別人口10万人対比 (平成27年度)
- 資料 20 : 設置構想に係るニーズアセスメント調査
(人材需要に関するアンケート調査) 報告書

【資料1：18歳人口の見通し】

	2019	2020	2021	2022	2023		2031	2019年比増加率 (%)
全国 (千人)	1,175	1,167	1,141	1,121	1,097		1,033	88.0
千葉県 (人)	55,425	55,220	54,908	53,904	53,397		50,116	90.4

(出典)

リクルート進学総研マーケットレポート2020年1月号

【資料2：大学等進学率】

H26年3月 (%)		H27年3月 (%)		H28年3月 (%)		H29年3月 (%)		H30年3月 (%)		R元年3月 (%)	
全国	53.8	全国	54.5	全国	54.7	全国	54.7	全国	54.7	全国	54.7
(1)東京都	66.1	(1)東京都	66.8	(1)東京都	66.5	(1)京都府	66.2	(1)京都府	65.9	(1)京都府	65.9
(2)京都府	65.6	(2)京都府	66.4	(2)京都府	66.5	(2)東京都	65.9	(2)東京都	64.7	(2)東京都	65.1
(3)神奈川県	61.0	(3)神奈川県	61.7	(3)神奈川県	61.5	(3)神奈川県	61.3	(3)神奈川県	61.0	(3)兵庫県	60.9
(14)千葉県	54.0	(13)千葉県	55.5	(11)千葉県	56.1	(14)千葉県	55.7	(12)千葉県	55.7	(13)千葉県	55.1
(45)北海道	41.2	(45)鳥取県	42.0	(45)山口県	42.7	(45)鹿児島県	43.2	(45)山口県	44.1	(45)鹿児島県	43.3
(46)鹿児島県	41.0	(46)長崎県	41.3	(46)鹿児島県	42.7	(46)鳥取県	42.3	(46)鳥取県	43.8	(46)山口県	43.1
(47)沖縄県	37.7	(47)沖縄県	39.8	(47)沖縄県	39.2	(47)沖縄県	39.5	(47)沖縄県	39.7	(47)沖縄県	39.6

※()の数字は都道府県順位

(出典)

文部科学省「学校基本調査」高等学校(全日制・定時制)卒業後の状況調査

【資料3：全国 保健系学部及び理・工学系学部 学部数・入学定員（平成27年度～31年度）】

区分	年度	学部数	入学定員（人）	志願者（人）	入学者（人）	入学定員充足率(%)
保健系	27	192	28,998	170,604	31,205	107.61
	28	198	30,330	172,038	31,585	104.14
	29	209	32,850	179,962	33,561	102.16
	30	220	34,307	185,322	34,669	101.06
	31	237	35,861	188,548	36,159	100.83

区分	年度	学部数	入学定員（人）	志願者（人）	入学者（人）	入学定員充足率(%)
理・工学系	27	147	59,933	665,838	65,164	108.73
	28	146	59,108	664,238	62,536	105.80
	29	149	61,579	694,118	64,685	105.04
	30	150	61,917	728,042	62,876	101.55
	31	151	61,812	796,668	63,263	102.35

（出典）

全国の私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

「日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター」

【資料4：全国 臨床工学技士養成学部 学部数・入学定員（平成27年度～31年度）】

区分	学部数					入学定員数（人）				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
保健医療学部	30	30	32	32	34	4,845	5,085	5,795	6,000	6,460
医療保健学部	6	6	8	8	8	1,610	1,650	1,810	1,820	1,770
保健科学部	6	6	6	6	6	1,165	1,165	1,315	1,225	1,175
医療技術学部	3	3	3	3	4	1,540	1,580	1,865	1,755	1,595
医療科学部	3	3	3	3	3	878	1,040	1,040	1,040	760
生命科学部	5	5	7	7	8	1201	1201	1,726	1761	1,911
合計	53	53	59	59	63	11,239	11,721	13,551	13,601	13,671

（出典）

全国の私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）「日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター」

【資料5：臨床工学技士養成学部 志願者動向（平成27年度～31年度）】

区分	志願者（人）				
学部名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
保健医療学部	24,934	26,057	25,621	26,979	28,502
医療保健学部	9,813	9,130	10,424	8,713	8,618
保健科学部	5,628	5,487	6,558	5,188	5,041
医療技術学部	12,057	10,712	12,034	12,234	10,418
医療科学部	4,888	6,107	5,713	5,965	3,799
生命科学部	17,537	17,071	24,133	22,939	29,849
合計	74,857	74,564	84,483	82,018	86,227

（出典）

全国の私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）
「日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター」

【資料6：全国 臨床工学技士養成学部 入学者動向（平成27年度～31年度）】

区分	入学定員（人）					入学者数（人）					入学定員充足率（％）				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
学部名															
保健医療学部	4,845	5,085	5,795	6,000	6,460	5,424	5,252	5,967	6,128	6,636	111.95	103.28	102.97	102.13	102.72
医療保健学部	1,610	1,650	1,810	1,820	1,770	1,679	1,603	1,759	1,733	1,767	104.29	97.15	97.18	95.22	99.83
保健科学部	1,165	1,165	1,315	1,225	1,175	1,288	1,280	1,325	1,268	1,227	110.56	109.87	100.76	103.51	104.43
医療技術学部	1,540	1,580	1,865	1,755	1,595	1,790	1,685	2,045	1,781	1,573	116.23	106.65	109.65	101.48	98.62
医療科学部	878	1,040	1,040	1,040	760	1,038	1,050	1,101	1,092	792	118.22	100.96	105.87	105.00	104.21
生命科学部	1201	1201	1,726	1,761	1,911	1,210	1,234	1,731	1,679	1,846	100.75	102.75	100.29	95.34	96.60
合計	11,239	11,721	13,551	13,601	13,671	12,429	12,104	13,928	13,681	13,841	110.33	103.44	102.79	100.45	101.07

（出典）

全国の私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

「日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター」

【資料7：平成27年から5年間の臨床工学技士国家試験合格者推移】

年度	受験者	合格者	合格率
平成31年	2,828	2,193	77.5%
平成30年	2,737	2,017	73.7%
平成29年	2,947	2,413	81.9%
平成28年	2,739	1,987	72.5%
平成27年	2,848	2,370	83.2%
平均	2,820	2,196	77.8%

（出典）厚生労働省

資料8:臨床工学系学科を設置している近隣大学の志願倍率及び入学定員充足率

(単位:人・倍・%)

(単位:人・倍・%)

大学名	学部学科名	所在地	平成28年度			平成29年度			平成30年度				令和元年度					
			入学定員	志願者数	志願倍率	入学定員	志願者数	志願倍率	入学定員	志願者数	志願倍率	入学者	入学定員充足率	入学定員	志願者数	志願倍率	入学者	入学定員充足率
千葉科学大学	危機管理学部 保健医療学科 臨床工学コース	千葉県 銚子市	80 (*1)	158 (*1)	1.98	80 (*1)	105 (*1)	1.31	80 (*1)	88 (*1)	1.10	コースごとの入学者数は公表されていない		80 (*1)	74 (*1)	0.93	コースごとの入学者数は公表されていない	
東京工科大学	医療保健学部 臨床工学科	東京都 大田区	80	552	6.90	80	651	8.14	80	909	11.36	80	100.00%	80	674	8.43	76	95.00%
杏林大学	保健学部 臨床工学科	東京都 三鷹市	60	481	8.02	60	559	9.32	60	478	7.97	68	113.33%	60	478	7.97	59	98.33%
帝京科学大学	生命環境学部 生命科学科 臨床工学コース	東京都 足立区	100 (*2)	233	2.33	100 (*2)	230	2.30	100 (*2)	212	2.12	コースごとの入学者数は公表されていない		100 (*2)	322	3.22	コースごとの入学者数は公表されていない	
帝京平成大学	健康メディカル学部 医療科学科 臨床工学コース	東京都 豊島区	80	316	3.95	80	371	4.64	80	278	3.48	コースごとの入学者数は公表されていない		80	234	2.93	コースごとの入学者数は公表されていない	
日本医療科学大学	保健医療学部 臨床工学科	埼玉県 入間郡	40	236	5.90	40	192	4.80	40	213	5.33	平成30年度の入学者数は未だ公表されていない		40	228	5.70	平成30年度の入学者数は未だ公表されていない	
埼玉医科大学	保健医療学部 臨床工学科	埼玉県 日高市	40	63	1.58	40	45	1.13	40	44	1.10	39	97.50%	40	55	1.38	37	92.50%
平均値			68.5	289.9	4.38	68.5	307.6	4.52	68.5	317.4	4.64	—	103.61% (*3)	68.5	295	4.36	—	95.30% (*3)

*1:入学定員数、志願者数は学科全体の数値

*2:入学定員数は学科全体の数値

*3:公表されている3校の平均

※志願者は一般選抜のみ(一般入試とセンター試験利用入試の合計)。入学定員は全入試制度の合計。

出典:各大学ホームページ掲載情報

資料9：平成30年度 都道府県別人口10万人当たり臨床工学技士養成校定員数

都道府県数	順位	都道府県	養成校数	養成校定員数(人)	人口(10万人)	人口10万人当たり入学定員数(人)
1	1	岡山県	4	215	19.1	11.3
2	2	香川県	2	80	9.7	8.2
3	3	福島県	2	140	18.8	7.4
4	4	宮崎県	2	80	10.9	7.3
5	5	大分県	2	80	11.5	7.0
6	5	石川県	2	80	11.5	7.0
7	7	新潟県	3	150	22.7	6.6
8	8	和歌山県	1	55	9.5	5.8
9	8	島根県	1	40	6.9	5.8
10	10	熊本県	2	100	17.7	5.6
11	10	高知県	1	40	7.1	5.6
12	12	大阪府	8	480	88.2	5.4
13	13	広島県	3	150	28.3	5.3
14	14	東京都	13	647	137.2	4.7
15	15	群馬県	2	90	19.6	4.6
16	16	北海道	5	230	53.2	4.3
17	17	岐阜県	1	80	20.1	4.0
18	18	長崎県	1	45	13.5	3.3
19	19	山口県	1	40	13.8	2.9
20	19	愛媛県	1	40	13.6	2.9
21	21	沖縄県	1	40	14.4	2.8
22	21	愛知県	5	210	75.3	2.8
23	23	鹿児島県	1	40	16.3	2.5
24	24	福岡県	3	120	51.1	2.3
25	25	三重県	1	40	18.0	2.2
26	26	神奈川県	4	185	91.6	2.0
27	26	兵庫県	3	110	55.0	2.0
28	26	栃木県	1	40	19.6	2.0
29	29	宮城県	1	40	23.2	1.7
30	30	茨城県	1	40	28.9	1.4
31	31	千葉県	1	80	62.5	1.3
32	32	埼玉県	2	80	73.1	1.1
33	32	静岡県	1	40	36.8	1.1
34	34	京都府	1	24	26.0	0.9
		合計	83	3,951	—	—

出典：一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会：平成31年4月現在
 総務省統計局 都道府県別人口等 平成31年3月

※養成校数は、全日制・定時制、本科・別科等複数の課程を置く場合、1の課程を1校として計上した。

東都大学「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」
設置構想に係るニーズアセスメント調査
【学生確保の見通しに関する高校生アンケート調査】
報告書

令和2年3月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	3
3	集計結果のポイント	6

添付資料

「東都大学 幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）設置構想についての
高校生アンケート調査」用紙

1 調査の概要

- ◆調査の目的：本調査は、東都大学が令和3年4月設置に向けて構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。
- ◆調査期間：令和元年12月～令和2年3月
- ◆調査対象：令和3年度の大学入試を受験する可能性が最も高い、令和元年度の高校2年生をアンケートの対象とした。
- ◆調査方法：東都大学が構想中の「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」への通学が現実的に可能である高等学校359校に実施を依頼。実施の承認が得られた27校にアンケートを送付。各校の教員が調査対象である高校2年生にアンケート用紙を配布の上、回答後その場で回収した。依頼対象校の内訳は以下の通り。

地域	学校数
千葉県(全域)	188校
東京都(墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区)	49校
埼玉県(東都大学への入学実績校)	122校
合計	359校

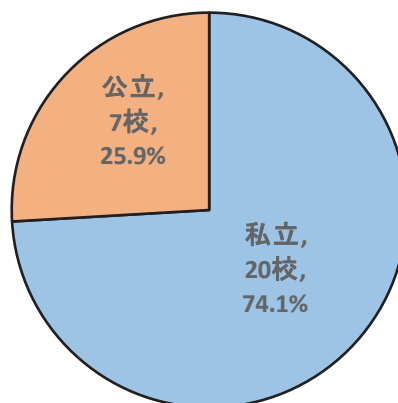
- ◆調査内容：アンケート項目は全8問で、全て選択肢式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『回答者の基本情報（性別・居住地）について』
『回答者の高校卒業後の希望進路について』
『東都大学「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」への受験・入学意欲について』
- ◆実施校：27校（実施率 7.5% / 依頼数 359校）
- ◆有効件数：2,926件（回収件数 2,927件）
※問1（性別）と問2（居住地）のいずれかの回答が無回答であったものは、無効回答とした。

◆実施高校：本アンケートに協力いただいた27校の詳細は以下の通り。

1. 都道府県別の実施高校数

	公立	私立	合計	割合
千葉県	3校	15校	18校	66.7%
東京都		1校	1校	3.7%
埼玉県	4校	4校	8校	29.6%
合計	7校	20校	27校	100.0%
割合	25.9%	74.1%	100.0%	

2. 設置者別の実施高校数



2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

3～5 ページは、アンケートで回答を得た 2,926 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	男性	1,350	46.1%
2	女性	1,576	53.9%
	計	2,926	100.0%

問2 あなたが現在お住いの都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	千葉県	1,783	60.9%
2	東京都	135	4.6%
3	茨城県	19	0.6%
4	埼玉県	978	33.4%
5	その他	11	0.4%
	計	2,926	100.0%

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 2,926 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大学	2,184	74.6%
2	短期大学	204	7.0%
3	専門学校	712	24.3%
4	就職	207	7.1%
5	その他	50	1.7%
	無回答	11	0.4%

問4 あなたは“臨床工学技士”という医療に関する国家資格を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	仕事内容などを知っている	181	6.2%
2	名前を聞いたことがある程度	1,127	38.5%
3	知らなかった	1,606	54.9%
	無回答	12	0.4%
	計	2,926	100.0%

問5 あなたは東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	98	3.3%
2	受験しない	2,767	94.6%
	無回答	61	2.1%
	計	2,926	100.0%

以下の問6・問7は、問5で「1. 受験したい」を選択した 98 人が回答対象である。

問6 東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」の特色について、あなたが興味・関心をもった内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 98 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	臨床工学技士を目指せること	42	42.9%
2	医学情報技士を目指せること	25	25.5%
3	医療テクノロジー学科(仮称)が描く人材養成の理念に共感できること	17	17.3%
4	医療と工学について、高い専門性と確かな技術力が身に付くこと	20	20.4%
5	多くの演習・実習を通して、高い専門性と確かな技術力が実際の医療現場でどのように生かされてゆくのかを学べること	20	20.4%
6	既設の学部において、医療人材(看護師・保健師・助産師、管理栄養士、理学療法士)の養成に実績があること	19	19.4%
7	キャンパスが幕張新都心という良い立地であり、教育研究環境が整っていること	20	20.4%

8	チューター制を採用し、大学生活を意欲的に取り組めること	5	5.1%
9	その他	4	4.1%
	無回答	7	7.1%

問7 あなたは東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	45	45.9%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	52	53.1%
	無回答	1	1.0%
	計	98	100.0%

以下の問8は、問5で「2. 受験しない」を選択した 2,767 人が回答対象である。

問8 あなたが東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 2,767 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	興味・関心のある分野ではないから	2,187	79.0%
2	興味・関心のある分野だが、他大学への進学を希望しているから	294	10.6%
3	興味・関心のある分野だが、新設学部へ進学するのは不安だから	71	2.6%
4	興味・関心のある分野だが、更に詳細を 知った上で検討したいか	159	5.7%
5	卒業後の進路として、大学への進学を考えていないから	216	7.8%
6	通学が不便そうだから	161	5.8%
7	学費が高いから	164	5.9%
8	その他、理由があればお書きください	49	1.8%
	無回答	22	0.8%

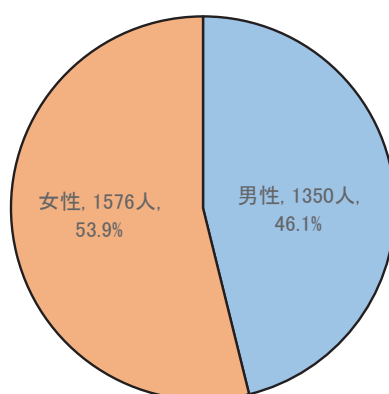
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

● 回答者の男女比はほぼ 5 割ずつ。

回答者 2,926 人のうち、男性は 1,350 人 (46.1%)、女性は 1,576 人 (53.9%) であった。

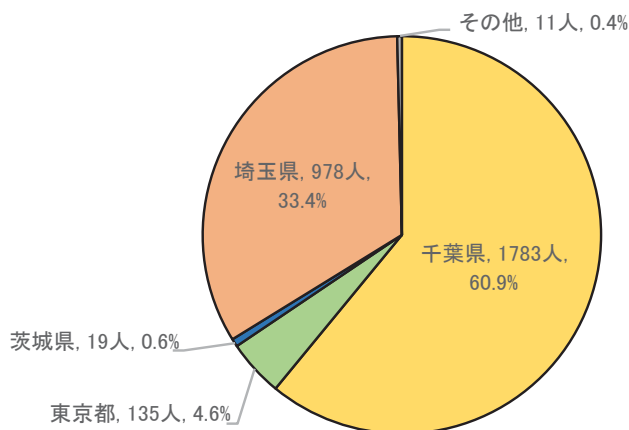
グラフ 回答者の性別 (「問1」結果より)



● 回答者の 6 割が千葉県に居住。

アンケートの回答者 2,926 人のうち、60.9%にあたる 1,783 人が千葉県の居住者であった。その他の回答者は、978 人 (33.4%) が「埼玉県」、135 人 (4.6%) が「東京都」、19 人 (0.6%) が「茨城県」、11 人 (0.4%) が「その他」の構成となっている。本調査は東都大学が構想中の「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科 (仮称)」への通学が現実的であると考えられる地域を考慮して実施していることから、調査結果の適性は十分に担保している。

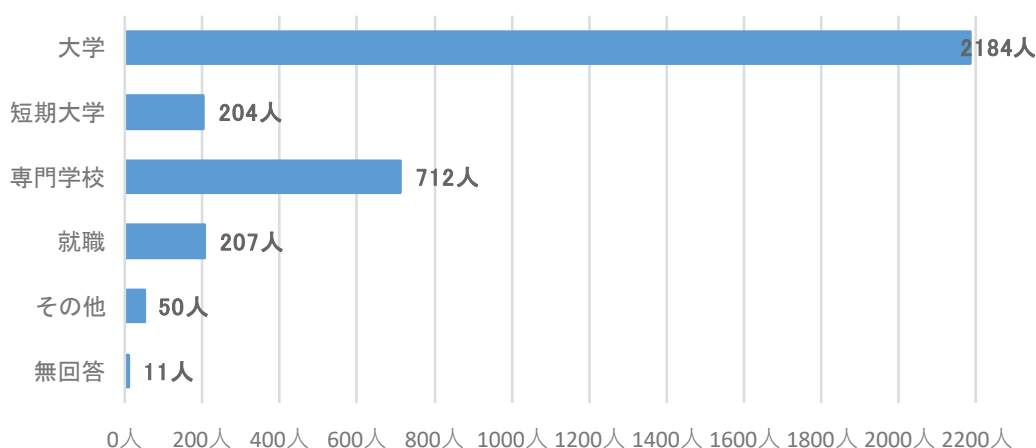
グラフ 回答者の居住地 (「問2」結果より)



● 7割以上が高校卒業後の進路で「大学」を選択。

回答を得た高校生 2,926 人に高校卒業後の希望について複数回答で質問したところ、「大学」に 74.6%にあたる 2,184 人が回答し、他の選択肢と比較し、回答が目立った。(複数回答の結果)。

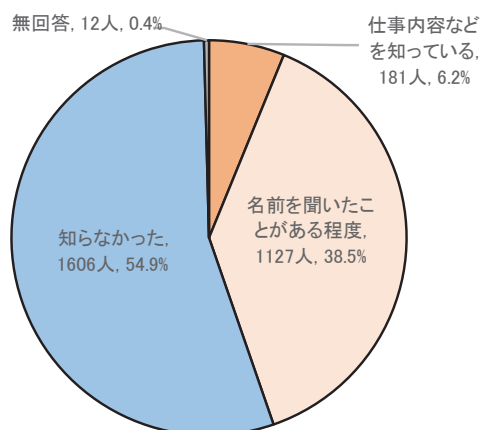
グラフ 高校卒業後の希望進路（「問3」結果より）※複数回答の結果



● 4割が、臨床工学技士の国家資格について「知っている」と回答。

回答を得た高校生 2,926 人に臨床工学技士への知名度を質問したところ、「仕事内容などを知っている」に 181 人 (6.2%)、「名前を聞いたことがある程度」に 1,127 人 (38.5%) が回答し、合計で 44.7%にあたる 1,308 人が臨床工学技士への認知を示した。一方で、もっとも多い回答は「知らなかった」で、54.9%にあたる 1,606 人が回答した。

グラフ 臨床工学技士への知名度（「問4」結果より）

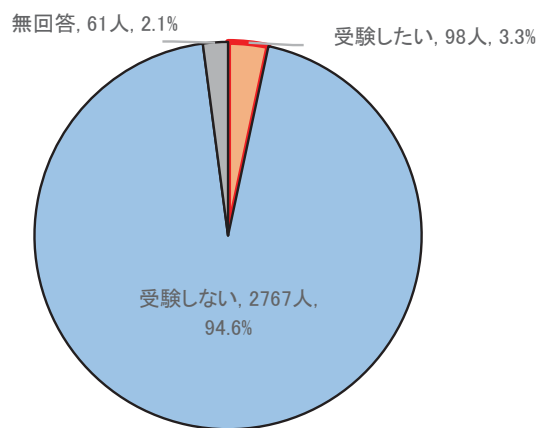


● 98 人が「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」を「受験したい」と回答。

回答者 2,926 人のうち、3.3%にあたる 98 人が、東都大学が構想中の「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」を「受験したい」と回答した。

当該学科の入学定員は 40 人を予定していることから、2.5 倍の受験意欲を示す回答が得られた。

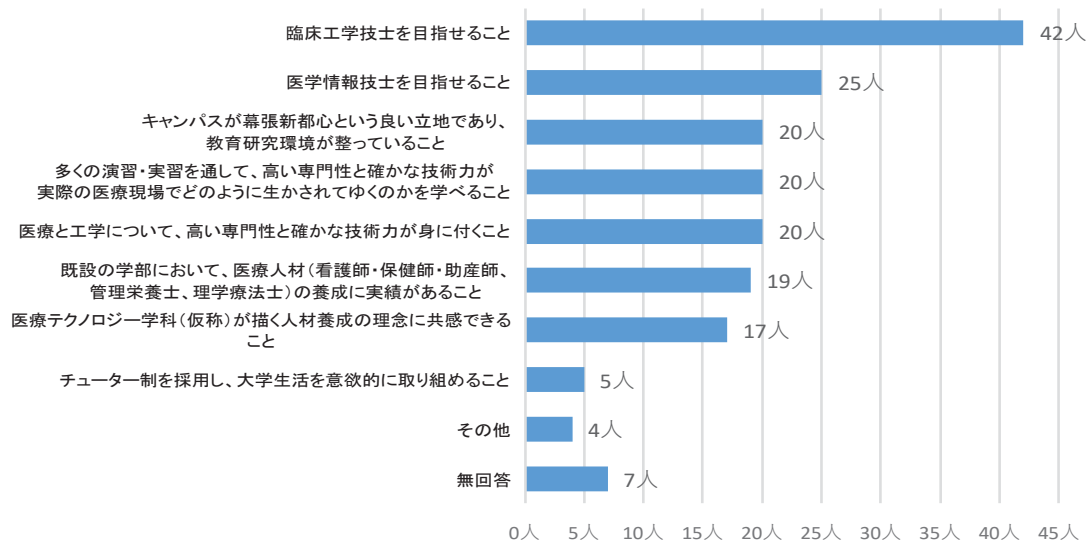
グラフ 「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」を「受験したい」高校生（「問 5」結果より）



● 興味・関心をもった特色として、「臨床工学技士を目指せる」に多数。

東都大学の「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」を受験したいと回答した 98 人に、当該学科の特色への興味・関心度について質問したところ、42.9%にあたる 42 人が「臨床工学技士を目指せること」と回答し、他の選択肢と比べ回答が目立った。（複数回答の結果）

グラフ 興味・関心をもった内容（「問 6」結果より）※複数回答の結果、回答の多い順



● 45人が「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー（仮称）」に「入学したい」と回答。

東都大学の「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」を「受験したい」と回答した98人に対し、合格した場合の入学意欲について回答を求めた結果、予定される入学定員40名を上回る45人が「入学したい」と回答、52人が「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した。この入学意欲における回答と、問2の居住地における回答をクロス集計したところ、「入学したい」の回答者45人のうち26人が「千葉県」、14人が「埼玉県」、「東京都」と「茨城県」がそれぞれ1人おり、東都大学が所在する千葉県に加え、その他の都道府県に居住する高校生からも入学意欲を示す回答が得られた。

グラフ 「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科(仮称)」への受験・入学意欲（「問5」「問7」結果より）

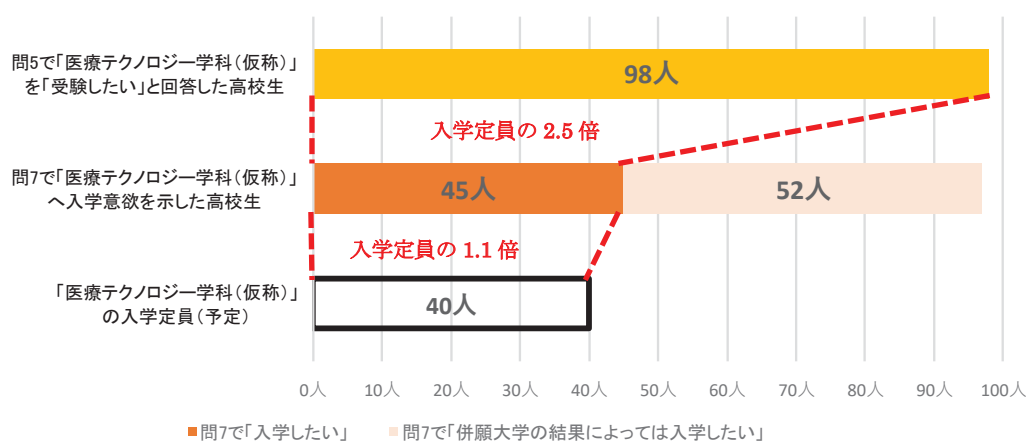


表 居住地別・「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」への入学意欲（「問2」「問7」結果より）

居住地	入学したい		併願大学の結果によっては入学したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比
千葉県	26人	57.8%	26人	50.0%
東京都	1人	2.2%	4人	7.7%
茨城県	1人	2.2%	0人	0.0%
埼玉県	14人	31.1%	21人	40.4%
その他	3人	6.7%	1人	1.9%
合計	45人	100.0%	52人	100.0%

以上の結果より、東都大学が令和3年4月に設置構想中である「幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（仮称）」の学生確保の見通しは、予定する入学定員を上回る入学意欲を得たため、入学定員の確保は十分に可能であると判断できる。

添付資料

「東都大学 幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）設置構想についての高校生アンケート調査」
用紙

2021年4月開設に向け

設置構想中

※ 学部・学科名称は仮称のため、変更となる場合があります。

設置構想についての高校生アンケート調査

(対象: 2019年度現在、高校2年生の皆さん)

東都大学は2021年4月、幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称) <入学定員40名予定>の設置を構想しています。本学ではこのアンケート調査を通して、2021年に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、構想内容に少しでも反映したいと考えています。

なお、回答いただいた皆さんから得られた情報は東都大学の幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)の設置構想に係る統計資料ならびに、文部科学省への提出書類としてのみ活用いたします。

高校生の皆さんのアンケート調査へのご協力を、よろしく願いいたします。

※このアンケート調査は東都大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

あなたのことについて、以下の質問にお答えください。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 千葉県()市・町 2. 東京都()区・市・町
3. 茨城県()市・町 4. 埼玉県()市・町
5. その他()

問3 高校卒業後の希望進路についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 大学 2. 短期大学 3. 専門学校
4. 就職 5. その他()

問4 あなたは“臨床工学技士”という医療に関する国家資格を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 仕事内容などを知っている 2. 名前を聞いたことがある程度 3. 知らなかった

「ヒューマンケア」の学びと実践から、未来のニーズに応える医療人を育成します。

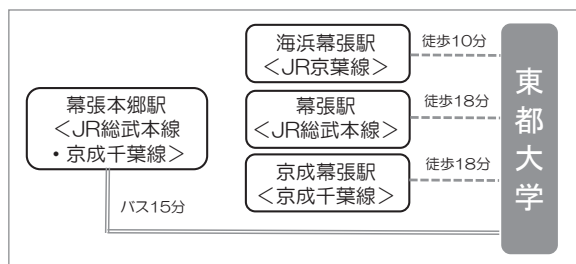
幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科

仮称・設置構想中

学科の概要

開設場所：千葉県千葉市美浜区ひび野1-1
 修業年限：4年
 入学定員：40名(収容定員:160名)
 取得学位：学士(医療テクノロジー)
 取得できる資格：臨床工学技士(国家試験受験資格)
 医療情報技士(日本医療情報学会認定)

アクセス



設置構想中の医療テクノロジー学科(仮称)では、次のような力を備えた人材を養成します。

- ① 生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解できる豊かな“人間力”
- ② 周りを取り巻く文化と社会に関する知識とその理解を可能とする“知力”
- ③ 医学、工学、情報を融合した医療テクノロジーを身に着け、高度先進医療に貢献できる“技術力”
- ④ チーム医療の一員として医療・保健・予防・福祉のあらゆる分野の担い手として他の医療分野と協力できる“コミュニケーション力”

本学の紹介

本学はこれまでに、数多くの医療に関わる専門人材を、社会に輩出してきました。

2009年に埼玉県深谷市に医療系大学を設置し、ヒューマンケアの理念の基、看護師・保健師・助産師等を社会に送り出してきました。

2018年度の看護師国家試験は、全国平均を上回る合格率(97.3%)でした。

2018年度に管理栄養学科を深谷キャンパスに開設しました。また、2019年度から理学療法学科を幕張キャンパスに開設しました。

【本学の学部・学科構成】

所在地	学部名	学科名	入学定員
深谷キャンパス «埼玉県深谷市»	ヒューマンケア学部	看護学科	100名
	管理栄養学部	管理栄養学科	80名
幕張キャンパス «千葉県千葉市»	幕張ヒューマンケア学部	看護学科	120名
		理学療法学科	80名
		医療テクノロジー学科 (仮称・設置構想中)	40名(予定)

学科の特色

1. 「医学と工学の知識や技能」と「チーム医療の一員としての責任」

臨床経験豊富な臨床工学系教員と教育経験豊富な工学系教員がバランスよく配置され、従来の臨床工学のみならず時代のニーズに応えるべくサイバーセキュリティや医療機器のIT化、ロボット化に対応できる人材育成を目指します。

2. 幕張新都心に開設するキャンパスの活用

高度な人材を育む学術・教育・産業機能が集中し、さらに発展を続ける幕張新都心です。

学習環境・施設に恵まれており、地の利を活かし、優れた教員を集め、多数の教育機関、医療施設、行政庁等と連携して、大学教育を行います。

3. 入学から次の進路までの充実したサポート体制

大学生活を意欲的に取り組めるよう、チューター制を採用します。

この制度では、教員が履修指導をはじめ、生活の様々な事柄、国家試験や就職面等の将来の目標に向かっての相談に応じます。

※ 上記は構想中の概要であり、変更となる場合があります。

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	施設・設備費等	諸会費等	初年度納付金
本学 幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称) 千葉県千葉市美浜区ひび野1-1	250,000	900,000	600,000	49,370	1,799,370
千葉科学大学 危機管理学部保健医療学科 千葉県銚子市	250,000	850,000	550,000	25,000	1,675,000
東京工科大学 医療保健学部臨床工学科 東京都大田区	340,000	1,560,000	0	23,300	1,923,300
杏林大学 保健学部臨床工学科 東京都三鷹市	250,000	1,150,000	500,000	88,370	1,988,370

※東都大学幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)の納付金は2021年度予定です。
 ※他大学の各学部・学科の納付金は各大学ホームページ掲載情報に基づきます(2019年11月時点)。
 ※その他に、実習に関する費用などが必要な場合があります。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

臨床工学技士の役割・仕事について

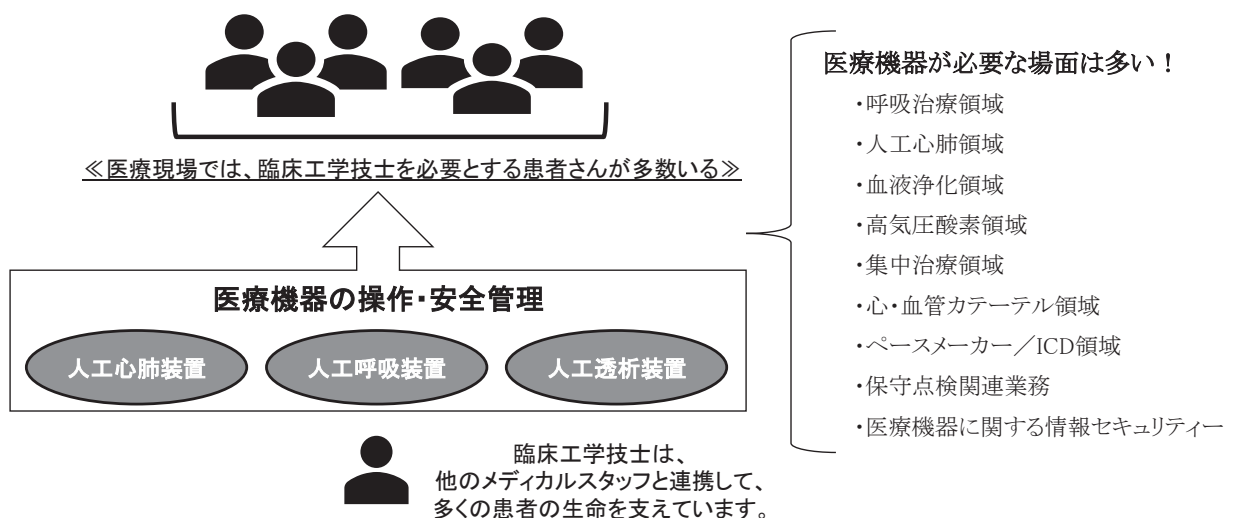
① 臨床工学技士 = 医療機器のスペシャリスト

- * 臨床工学技士は、看護師などと並び、医療現場で働くメディカルスタッフの一員です。
- * 生命維持管理装置の操作及び保安点検を責務とする、医療機器のスペシャリストです。
- * 医療機器のIoT化、医用ロボット等、進化・発展する医療機器の保安・安全管理、医療機器に関する情報セキュリティー管理を期待されています。
- * 医学知識と工学技術を兼ね備えたチーム医療を支える一員として、患者の生命を支える重要な国家資格です。

② 臨床工学技士の役割

臨床工学技士は、医療機器を扱うことで患者の生命を支える、重要な役割を担っています。

医師や看護師、理学療法士をはじめとする多くのメディカルスタッフと連携して仕事をする事が多く、医学と工学の知識・技術力に加え、“チーム医療への理解”と“コミュニケーション能力”が求められます。



③ 卒業後の進路

卒業生は、病院やクリニックなどでメディカルスタッフとして活躍する他、その知識と技術力を生かして、医療機器メーカーをはじめとする企業の開発・研究・製造・販売などの部門での活躍が期待されます。

また、更に専門性を深めるために、大学院への進学も選択でき、専門学校や大学での教育にたずさわることができます。

問5

あなたは東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 受験したい → 1の方は **問6** **問7** にお答えください。
2. 受験しない → 2の方は **問8** にお答えください。

以下の問6・問7は、問5で「1. 受験したい」と回答した方がお答えください。

問6

東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」の特色について、あなたが興味・関心をもった内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 臨床工学技士を目指せること
2. 医療情報技士を目指せること
3. 医療テクノロジー学科(仮称)が描く人材養成の理念に共感できること
4. 医療と工学について、高い専門性と確かな技術力が身につくこと
5. 多くの演習・実習を通して、習得した技術力が実際の医療現場でどのように生かされてゆくのかを学べること
6. 既設の学部において、医療人材(看護師・保健師・助産師、管理栄養士、理学療法士)の養成に実績があること
7. キャンパスが幕張新都心という良い立地であり、教育研究環境が整っていること
8. チューター制を採用し、大学生活を意欲的に取り組めること
9. その他()

問7

あなたは東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 合格した場合、入学したい
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

以下の問8は、問5で「2. 受験しない」と回答した方がお答えください。

問8

あなたが東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 興味・関心のある分野ではないから
2. 興味・関心のある分野だが、他大学への進学を希望しているから
3. 興味・関心のある分野だが、新設学科へ進学するのは不安だから
4. 興味・関心のある分野だが、更に詳細を知った上で検討したいから
5. 卒業後の進路として、大学への進学を考えていないから
6. 通学が不便そうだから
7. 学費が高いから
8. その他、理由があればお書きください。

()

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

資料11： 本学既設学部の看護師国家試験合格率（新卒者）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ヒューマンケア 学部看護学科	94.7	87.9	96.1	97.9	98.0	98.1	97.1
全国	94.1	95.1	95.1	95.0	94.3	91.0	94.7

出典：厚生労働省、本学データ

本学既設学部就職状況

		卒業者数	①就職希望者 数	②就職者数	②/①就職率 (%)
ヒューマンケア 学部看護学科	平成30年度	73	69	69	100.0
	平成29年度	103	102	100	98.0
	平成28年度	98	96	96	100.0
	平成27年度	92	90	88	97.8
	平成26年度	104	104	99	95.2
	平成25年度	107	107	95	88.8
	平成24年度	95	94	89	94.7

出典：本学データ

資料12：本学既設学部（ヒューマンケア学部看護学科）の入試状況

		入学定員	志願者数	合格者数	倍率	入学者数	定員 充足率
ヒューマンケ ア学部看護学 科	平成31年度	100	331	219	1.5	116	116%
	平成30年度	100	335	220	1.5	115	115%
	平成29年度	100	447	197	2.3	121	121%
	平成28年度	100	457	205	2.2	126	126%
	平成27年度	100	426	191	2.2	95	95%
	平成26年度	100	440	196	2.2	111	111%
	平成25年度	100	458	207	2.2	115	115%

出典：本学データ、 倍率：志願者数/合格者数

資料13：構想中の幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科の周辺図

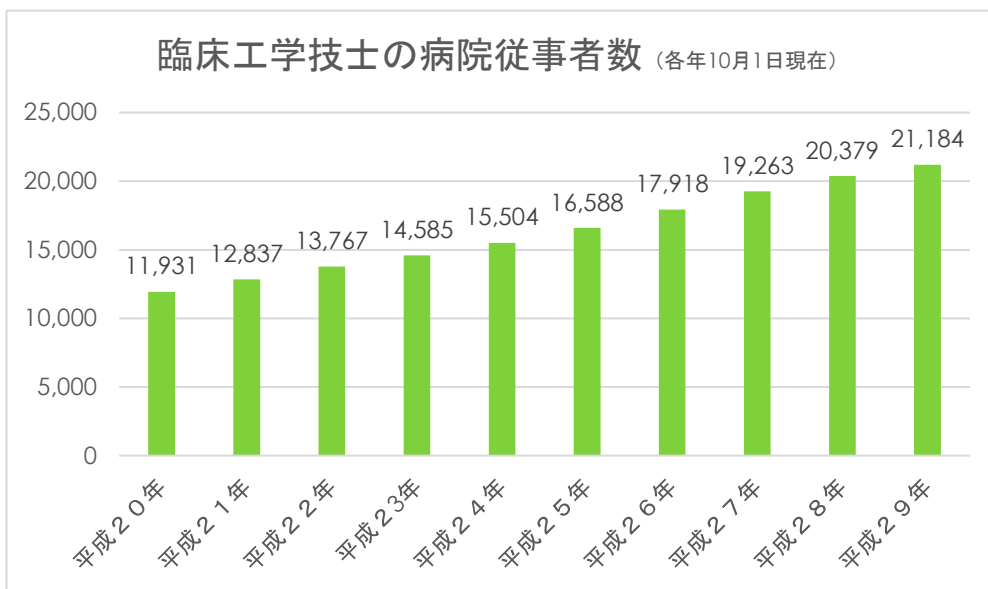


資料14：各主要駅から近隣駅までの乗車時間※（※乗車時間には乗換時間も含む）

駅名	出発時刻	到着時刻	乗車時間	乗換駅
JR東京（京葉線）～JR海浜幕張	8時05分	8時41分	（36分）	
JR東京（総武線）～JR幕張	8時00分	8時41分	（41分）	JR津田沼
JR錦糸町（総武線）～JR幕張	8時08分	8時41分	（33分）	
JR西船橋（京葉線）～JR海浜幕張	8時09分	8時22分	（13分）	
京成上野（京成本線）～京成幕張	7時49分	8時33分	（41分）	京成津田沼
千葉（千葉都市モノレール）～JR海浜幕張	8時17分	8時40分	（14分）	千葉みなと
JR大網（外房線）～JR海浜幕張	7時59分	8時40分	（35分）	蘇我
JR木更津（内房線）～JR海浜幕張	7時53分	8時46分	（47分）	蘇我

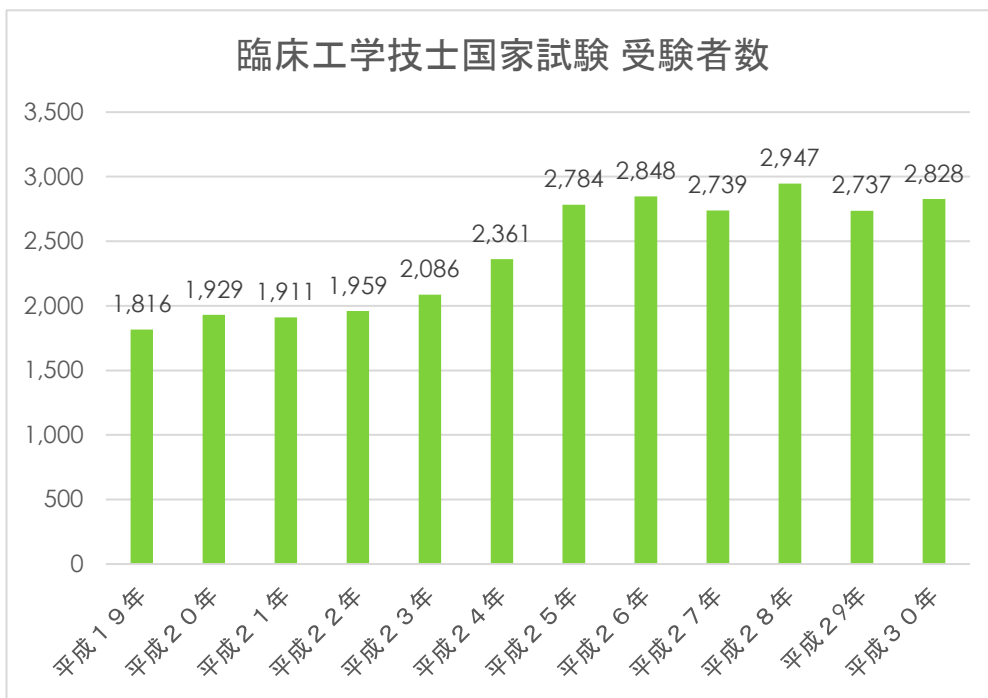
（出典）Yahoo Japan路線情報（調査日：令和2年2月7日）

資料15：臨床工学技士の病院従事者数



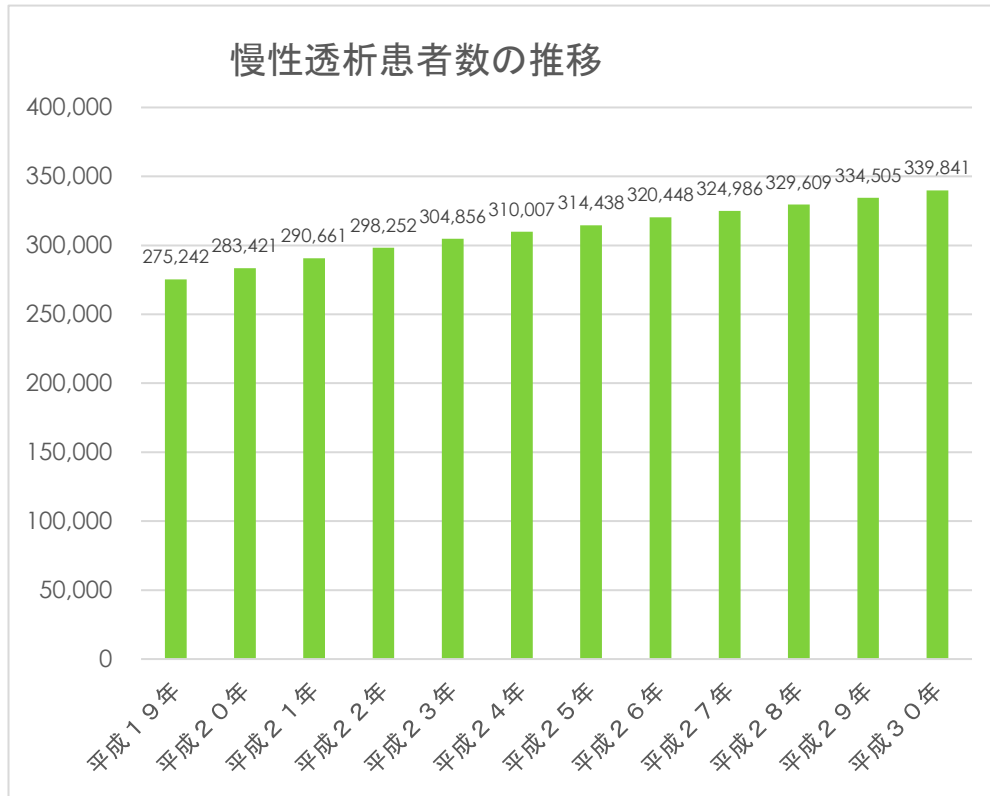
出典：厚生労働省「医療施設（動態）調査・病院報告の概要」より

資料16：臨床工学技士国家試験 受験者数



出典：厚生労働省「臨床工学技士国家試験の合格発表について」より

資料17：慢性透析患者数の推移



出典：日本透析学会 統計情報より

資料18：【透析患者数（都道府県別）と臨床工学技士数】
 (透析患者に対する臨床工学技士の比率・順位)

単位：人

	都道府県	※1透析患者数	※2臨床工学技士数	对患者比（技士数）
1	北海道	16,060	537	29.9
2	宮城県	3,948	139	28.4
3	長崎県	4,060	149	27.2
4	佐賀県	2,571	95	27.1
5	和歌山県	3,015	126	23.9
6	群馬県	6,058	271	22.4
7	青森県	3,615	164	22.0
8	岐阜県	5,096	235	21.7
9	福岡県	15,137	710	21.3
10	東京都	32,682	1,542	21.2
11	静岡県	11,158	532	21.0
12	大阪府	24,070	1,164	20.7
13	栃木県	6,480	317	20.4
14	埼玉県	18,541	917	20.2
15	鹿児島県	5,535	283	19.6
16	山口県	3,617	187	19.3
17	茨城県	8,317	435	19.1
18	兵庫県	14,390	788	18.3
19	千葉県	15,525	859	18.1
20	愛知県	18,783	1,049	17.9
21	富山県	2,589	145	17.9
22	徳島県	2,811	159	17.7
23	沖縄県	4,447	260	17.1
24	神奈川県	21,664	1,279	16.9
25	岩手県	3,147	186	16.9
26	山梨県	2,335	139	16.8
27	愛媛県	4,021	248	16.2
28	熊本県	6,604	408	16.2
29	高知県	2,504	156	16.1
30	奈良県	3,429	216	15.9
31	石川県	2,718	172	15.8
32	福井県	1,845	120	15.4
33	新潟県	5,229	342	15.3
34	鳥取県	1,548	103	15.0
35	福島県	5,119	346	14.8
36	京都府	6,641	451	14.7
37	長野県	5,297	363	14.6
38	三重県	3,972	285	13.9
39	宮城県	5,929	443	13.4
40	広島県	7,567	572	13.2
41	滋賀県	3,235	249	13.0
42	島根県	1,677	131	12.8
43	秋田県	2,186	177	12.4
44	大分県	4,057	342	11.9
45	岡山県	5,176	444	11.7
46	山形県	2,686	236	11.4
47	香川県	2,750	249	11.0
	(合計と平均)	339,841	18,720	17.8

出典：※1日本透析医学会「我が国の慢性透析療法の現況（平成30年）」より
 ※2千葉県臨床工学技士会調べ（技士会員数（平成29年））

【資料19】 都道府県別人口10万人あたりの臨床工学技士数

(平成27年)

圏	都道府県	臨床工学技士会員数(人)	人口(10万人)	人口10万人あたりの臨床工学技士数(人)	人口10万人あたりの臨床工学技士数(順位)
北海道・東北	北海道	537	53.8	10.0	47
	青森	164	13.1	12.5	41
	岩手	186	12.8	14.5	29
	宮城	443	23.3	19.0	9
	秋田	177	10.2	17.4	17
	山形	236	11.2	21.1	6
	福島	346	19.1	18.1	13
	小計	2,089	143.5	14.6	-
関東	茨城	435	29.2	14.9	27
	栃木	317	19.7	16.1	22
	群馬	271	19.7	13.8	36
	埼玉	917	72.7	12.6	42
	千葉	859	62.2	13.8	36
	東京都	1,542	135.2	11.4	44
	神奈川県	1,279	91.3	14.0	32
	山梨	139	8.3	16.7	21
	小計	5,759	438.3	13.1	-
北信越	新潟県	342	23.0	14.9	27
	富山県	145	10.7	13.6	38
	石川県	172	11.5	15.0	26
	福井県	120	7.9	15.2	25
	長野県	363	21.0	17.3	18
	小計	1,142	74.1	15.4	-
東海	岐阜県	235	20.3	11.6	43
	静岡県	532	37.0	14.4	30
	愛知県	1,049	74.8	14.0	32
	三重県	285	18.2	15.7	24
	小計	2,101	150.3	14.0	-
近畿・関西	滋賀県	249	14.1	17.7	16
	京都府	451	26.1	17.3	18
	大阪府	1,164	88.4	13.2	40
	兵庫県	788	55.3	14.2	31
	奈良県	216	13.6	15.9	23
	和歌山県	126	9.6	13.1	41
	小計	2,994	207.1	14.5	-
中国・四国	鳥取県	103	5.7	18.1	13
	島根県	131	6.9	19.0	9
	岡山県	444	19.2	23.1	3
	広島県	572	28.4	20.1	7
	山口	187	14.0	13.4	39
	徳島	159	7.6	20.9	8
	香川	249	9.8	25.4	2
	愛媛	248	13.9	17.8	15
	高知	156	7.3	21.4	5
	小計	2,249	112.8	19.9	-
九州・沖縄	福岡	710	51.0	13.9	34
	佐賀	95	8.3	11.4	44
	長崎	149	13.8	10.8	46
	熊本	408	17.9	22.8	4
	大分	342	11.7	29.2	1
	宮崎	139	11.0	12.6	42
	鹿児島	283	16.5	17.2	20
	沖縄	260	14.3	18.2	11
	小計	2,386	144.5	16.5	-
全国	18,720	1,270.6	14.7	-	

出典：平成27年度日本臨床工学技士選挙人名簿、平成27年度日本の人口動態 総務省統計局

東都大学「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」

設置構想に係るニーズアセスメント調査

【人材需要に関するアンケート調査】

報告書

令和2年2月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	7

添付資料

「東都大学 幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）設置構想に係る

人材需要アンケート調査」用紙

1 調査の概要

◆調査の目的：本調査は、東都大学が令和3年4月設置に向けて構想中の「医療テクノロジー学科（仮称）」の卒業生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

◆調査期間：令和元年12月～令和2年2月

◆調査対象：令和3年4月設置をめざす「医療テクノロジー学科（仮称）」の卒業生の採用が期待できる機関・企業として、以下の条件で抽出した709件を対象とした。

対象施設・業種	対象とした地域	件数
病院	千葉県、埼玉県（越谷市、八潮市、三郷市、吉川市）、東京都（江戸川区、葛飾区、江東区、墨田区）	384件
診療所	千葉県の千葉市、船橋市	127件
医療機器製造業	関東圏	108件
医療機器卸売業	関東圏	80件
法人関連施設		10件
合計		709件

◆調査方法：調査対象とした709件の採用担当者宛てに、東都大学が構想中の「医療テクノロジー学科（仮称）」の説明が入ったアンケート用紙を送付。回答後、返信を求めた。

◆調査内容：アンケート項目は全10問で、9問が選択肢式、1問を記述式とした。主な質問内容は、以下の通りである。

『機関・企業の基本情報』

『機関・企業が大学卒業生を採用する際に重視する点について』

『東都大学が構想中の医療テクノロジー学科（仮称）の卒業生の採用見込みについて』

◆回収件数：59件（配布件数 709件 / 回収率 8.3%）

2 全質問項目の集計結果

2～6 ページは、アンケートで回答を得た 59 件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

問1 貴機関・貴社の主業種をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	病院	47	79.7%
2	診療所・クリニック	5	8.5%
3	医療機器製造業	0	0.0%
4	医療機器卸売業	4	6.8%
5	その他	3	5.1%
	計	59	100.0%

問2 貴機関・貴社の本部所在地をお答えください。(枠内にご記入ください)

※ 記述のあった都道府県を集計した。

番号	選択項目	回答数	構成比
	千葉県	35	59.3%
	東京都	13	22.0%
	埼玉県	4	6.8%
	栃木県	3	5.1%
	神奈川県	2	3.4%
	茨城県	1	1.7%
	静岡県	1	1.7%
	計	59	100.0%

問3 貴機関・貴社に所属している臨床工学技士(常勤)の規模をお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	1～2人	6	10.2%
2	3～5人	7	11.9%
3	6～10人	7	11.9%
4	11～20人	10	16.9%
5	21人～	5	8.5%
6	現在臨床工学技士はいない	23	39.0%
	無回答	1	1.7%
	計	59	100.0%

問4 貴機関・貴社において、大卒の臨床工学技士を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答した59件のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	コミュニケーション能力	44	74.6%
2	基礎的な学力	34	57.6%
3	語学力	3	5.1%
4	創造的思考力	9	15.3%
5	主体性・自律性	35	59.3%
6	目的達成志向	18	30.5%
7	適応力	34	57.6%
8	インターンシップ経験	2	3.4%
9	ボランティア経験	0	0.0%
10	忍耐力	23	39.0%
11	理解力	26	44.1%
12	論理力	8	13.6%
13	ITスキル	5	8.5%
14	その他	5	8.5%
	無回答	5	8.5%

問5 貴機関・貴社における、臨床工学技士の充足状況についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大きく不足している	3	5.1%
2	やや不足している	15	25.4%
3	適度に充足している	20	33.9%
4	過剰である	0	0.0%
5	わからない	17	28.8%
	無回答	4	6.8%
	計	59	100.0%

問6 貴機関・貴社における、大卒の臨床工学技士の今後の採用方針についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	積極的に採用していきたい	19	32.2%
2	採用枠に余裕があれば採用したい	17	28.8%
3	大卒の臨床工学技士は採用しない	4	6.8%
4	わからない	16	27.1%
	無回答	3	5.1%
	計	59	100.0%

問7 東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」が養成する人材は地域および社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	18	30.5%
2	ニーズはある程度高い	24	40.7%
3	どちらとも言えない	14	23.7%
4	ニーズは高くない	0	0.0%
	無回答	3	5.1%
	計	59	100.0%

問8 東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」を卒業した人材を、将来、臨床工学技士として採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	採用したい	18	30.5%
2	採用を検討したい	19	32.2%
3	どちらとも言えない	13	22.0%
4	採用しない	7	11.9%
	無回答	2	3.4%
	計	59	100.0%

以下は「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」と回答した 37 件が回答対象である。

問9 問8で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」と回答した方は、採用可能であると思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	記述内容	回答数	構成比
1	1名	10	27.0%
2	2名	4	10.8%
3	3名	6	16.2%
4	4名	2	5.4%
5	5名以上	1	2.7%
6	人数は未確定	14	37.8%
	計	37	100.0%

問 10 東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)」に対して、期待される点やご要望があります

※ 9 件から回答を得た。

業種	記述内容
病院	ここ数年、ME が思うように採用できずに困っています。よろしくお願いいたします。
病院	深刻な若い医療人材を確保していくために必要である。
病院	コミュニケーション能力の高い人材を期待しております。
病院	臨床工学技士のみならず、病院運営に積極的にできる人材の育成を行ってほしい。
病院	当園は重度の障害児者の入所施設ですが、現在人工呼吸器も 20 台近くあります。今後実習先として、もしご希望がありましたらご連絡下さい。
病院	当院は南房総の 3 次救急病院であり、臨床工学技士は急性期病院に欠かせない存在となっています。貴学学生様が一人でも多く当院に実習に来ていただけたらと思います。
診療所・クリニック	千葉市内に臨床工学技士を養成する大学ができたことで採用しやすくなるのでありがたいです。
医療機器卸売業	弊社は同じ医療業界ですが、歯科に特化した、しかも「歯科技工物」と限られたものを商社の機能でシステム化したものなので、今回の「臨床工学技士」とは異なるかと思います。ただ、幕張に本社があり、この周辺の開発も一層盛んになっていますので、病院含め、スタッフさんの需要は高まっていくと思います。
その他	申し訳ありませんが、若い管理栄養士さんを当法人が運営する特養で求めています。

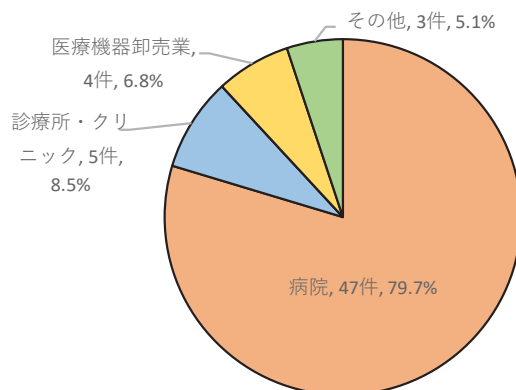
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

● 回答者の8割が「病院」。

回答を得た 59 件を業種別で見ると、「病院」が 79.7%にあたる 47 件で、もっとも多い業種として構成されている。その他では、「診療所・クリニック」が 5 件 (8.5%)、「医療機器卸売業」が 4 件 (6.8%)、「その他」が 3 件 (5.1%) となっている。なお、医療機器製造業からの回答はなかった。

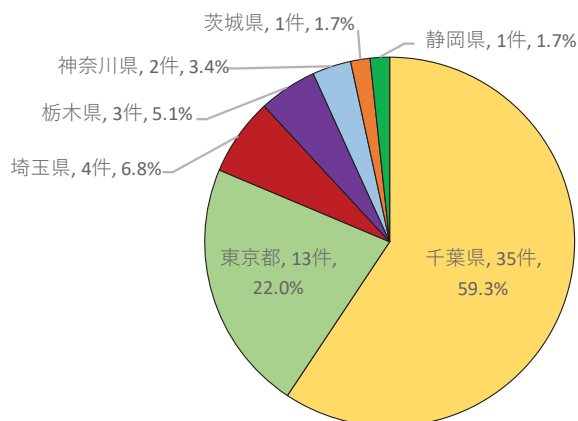
グラフ 回答元の業種 (「問1」結果より)



● 6割が千葉県に本部が所在する機関・企業。

回答を得た 59 件のうち、59.3%にあたる 35 件が「千葉県」が本部所在地であると回答した。その他の都道府県では、「東京都」が 13 件 (22.0%)、「埼玉県」が 4 件 (6.8%)、「栃木県」が 3 件 (5.1%)、「神奈川県」が 2 件 (3.4%)、「茨城県」と「静岡県」がそれぞれ 1 件 (1.7%) となっている。

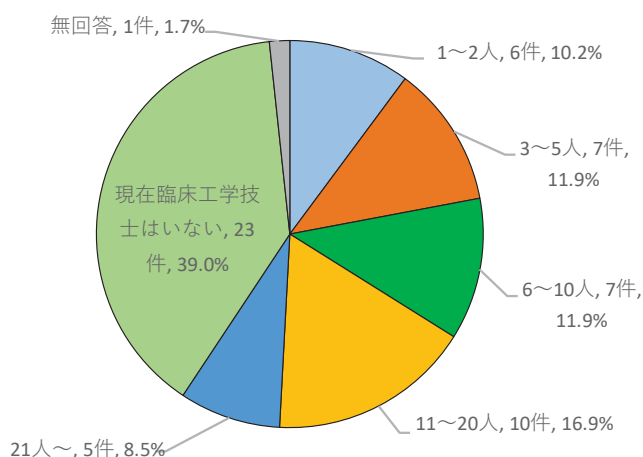
グラフ 回答元の所在地 (「問2」結果より)



● 6割の機関・企業が、常勤の臨床工学技士が所属していると回答。

回答を得た 59 件に常勤の臨床工学技士数を質問したところ、人数の選択肢の中では「11～20 人」がもっとも多く、16.9%にあたる 10 件が回答した。なお、選択肢の中で、人数規模への回答は 59.3%にあたる 35 件が回答した。一方で、「現在臨床工学技士はいない」には 23 件 (39.0%) と、もっとも多い回答であった。

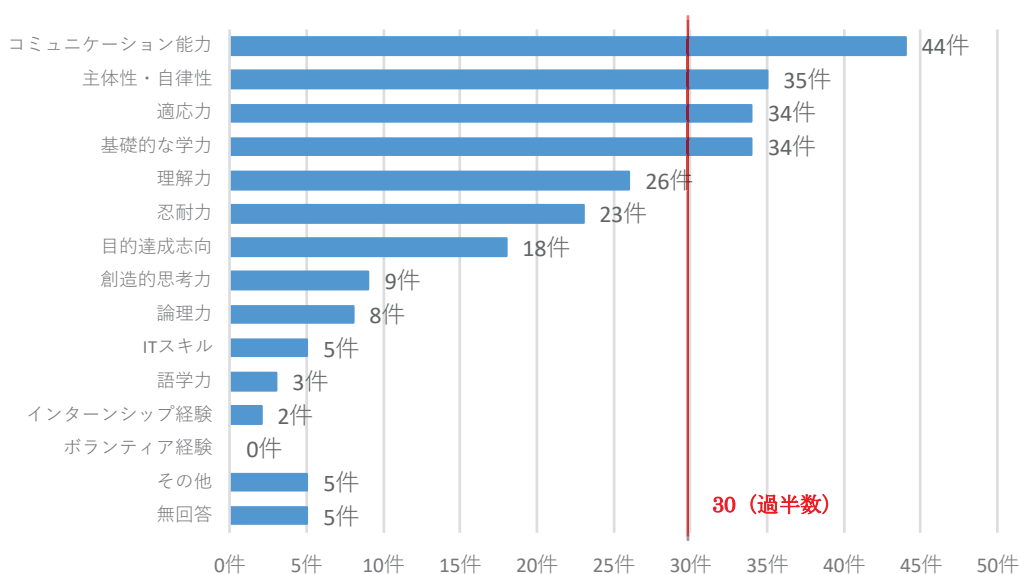
グラフ 常勤の臨床工学技士の所属規模（「問3」結果より）



● 7割以上が、大卒の臨床工学技士採用の際に「コミュニケーション能力」を重視。

大卒の臨床工学技士を採用する際に重視する能力・体験等として、74.6% にあたる 44 件が「コミュニケーション能力」を選択した。他にも、「主体性・自律性」「適応力」「基礎的な学力」に対し半数以上が回答しており、複数の能力・体験等を重視する傾向が見られた。

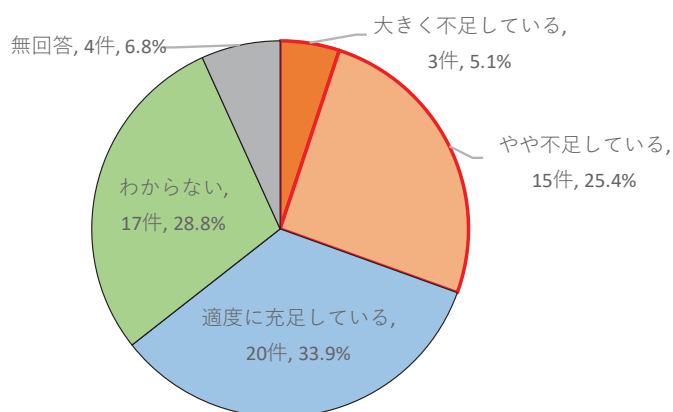
グラフ 大卒臨床工学技士を採用する際に重視する能力・体験等（「問4」結果より）※複数回答の結果、回答数が多い



● 3割の機関・企業が、臨床工学技士が「不足している」と回答。

臨床工学技士の充足状況について、3件(5.1%)が「大きく不足している」、15件(25.4%)が「やや不足している」と回答しており、合計で30.5%にあたる18件が不足状況であると示した。もっとも多い回答は20件(33.9%)が回答した「適度に充足している」であった。なお、「わからない」には、17件(28.8%)が回答している。

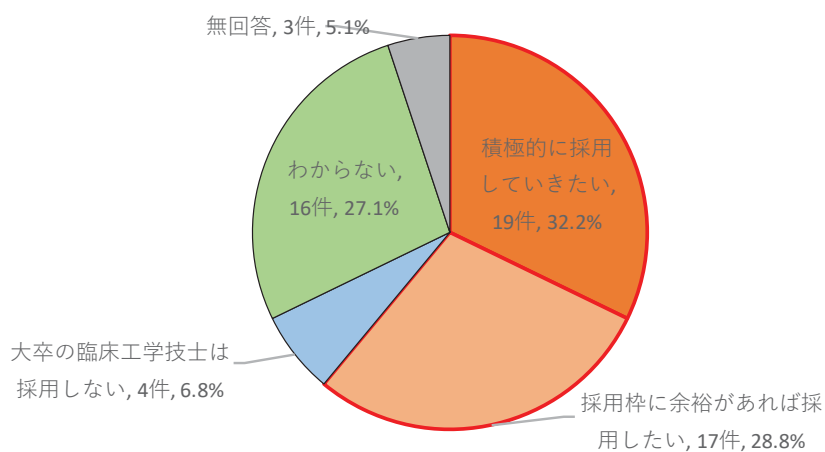
グラフ 臨床工学技士の充足状況（「問5」結果より）



● 3割が大卒の臨床工学技士について「積極的に採用していきたい」と回答。

大卒の臨床工学技士の採用方針について、32.2%にあたる19件が「積極的に採用していきたい」と回答した。また、17件(28.8%)が「採用枠に余裕があれば採用したい」と回答し、大卒の臨床工学技士への採用意欲を示した。一方で、「大卒の臨床工学技士は採用しない」へは、4件(6.8%)の回答に留まった。

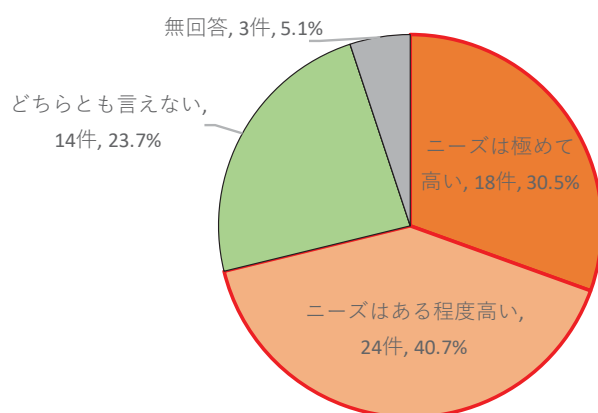
グラフ 大卒の臨床工学技士の採用方針（「問6」結果より）



● 7割以上の機関・企業が、養成する人材は「地域的・社会的ニーズが高い」と回答。

東都大学が構想中の「幕張ヒューマンケア学部 臨床テクノロジー学科（仮称）」で養成する人材に対する地域的ニーズや社会的ニーズについて、「ニーズは極めて高い」に 18 件（30.5%）、「ニーズはある程度高い」に 24 件（40.7%）が回答し、合計で 71.2%にあたる 42 件より、地域的、社会的ニーズが高いことを示す回答を得られた。一方で、「ニーズは高くない」への回答は 0 件であった。

グラフ 東都大学「医療テクノロジー学科（仮称）」で養成する人材のニーズ（「問7」結果より）

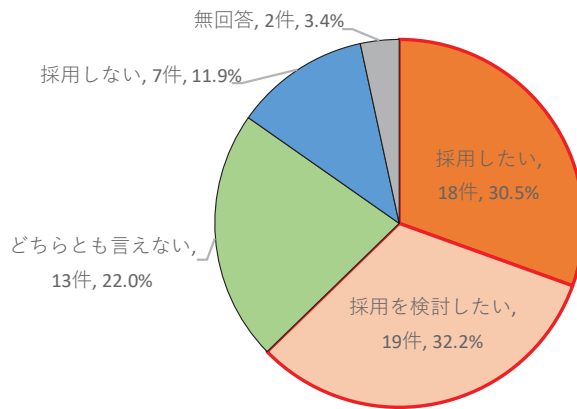


● 「医療テクノロジー学科（仮称）」卒業生に 37 件が採用意欲を示し、採用可能人数は 63 人。

東都大学が構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」の卒業生について、18 件（30.5%）が「採用したい」、19 件（32.2%）が「採用を検討したい」と回答し、合計で 37 件（62.7%）が採用意欲を示した。

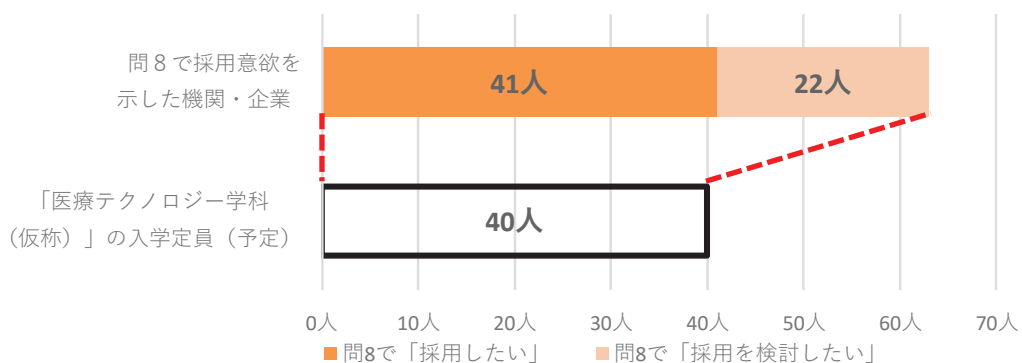
採用意欲を示した 37 件には問 9 にて採用可能な人数への回答を求めており、その回答の合計をすると、採用可能な人数は 63 人となった。なお、「採用をしたい」と回答した 18 件のうち、採用可能な人数の合計は 41 人であり、東都大学が構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」が予定する入学定員 40 人を上回る結果を得られた。

グラフ 東都大学「医療テクノロジー学科（仮称）」卒業生の採用意欲（「問8」結果より）



表とグラフ 東都大学「医療テクノロジー学科（仮称）」卒業生の採用可能人数（「問9」結果より）

採用可能人数		採用したい		採用を検討したい	
		回答数	合計人数	回答数	合計人数
1	1人	3件	3人	7件	7人
2	2人	4件	8人	0件	0人
3	3人	6件	18人	0件	0人
4	4人	1件	4人	1件	4人
5	5名以上	1件	5人	0件	0人
6	人数は未確定(1人として換算)	3件	3人	11件	11人
合計		18件	41人	19件	22人



以上の結果より、東都大学が令和3年4月に設置構想中である「医療テクノロジー学科（仮称）」の人材需要の見通しは、予定する入学定員を上回る採用意欲を得たため、十分な需要があり、問題ないと考えられる。

添付資料

「東都大学 幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）設置構想に係る
人材需要アンケート調査」用紙

2021年4月開設に向け

設置構想中

※ 学部・学科名称は仮称のため、変更となる場合があります。

設置構想についての人材需要アンケート調査

東都大学は2021年4月、千葉県幕張地区（千葉県千葉市美浜区ひび野1-1）に幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）＜入学定員40名＞の設置を構想しております。本学では、このアンケート調査を通して、将来卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。

なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、東都大学の幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）の設置に係る統計資料並びに、文部科学省への提出書類としてのみ活用いたします。

何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は東都大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

はじめに、貴機関・貴社についてお尋ねいたします。

貴機関・貴社名

問1

貴機関・貴社の主業種をお答えください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

1. 病院
2. 診療所・クリニック
3. 医療機器製造業
4. 医療機器卸売業
5. その他

問2

貴機関・貴社の本部所在地をお答えください。（枠内にご記入ください）

（ 都 ・ 道 ・ 府 ・ 県 ）

問3

貴機関・貴社に所属している臨床工学技士（常勤）の規模をお答えください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

1. 1～2人
2. 3～5人
3. 6～10人
4. 11～20人
5. 21人～
6. 現在臨床工学技士はいない

「ヒューマンケア」の学びと実践から、未来のニーズに応える医療人を育成します。

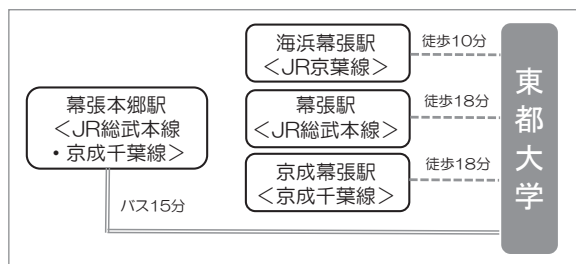
幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科

仮称・設置構想中

学科の概要

開 設 場 所：千葉県千葉市美浜区ひび野1-1
 修 業 年 限：4年
 入 学 定 員：40名(収容定員:160名)
 取 得 学 位：学士(医療テクノロジー)
 取得できる資格：臨床工学技士（国家試験受験資格）
 医療情報技士（日本医療情報学会認定）

アクセス



設置構想中の医療テクノロジー学科(仮称)では、次のような力を備えた人材を養成します。

- ① 生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解できる豊かな“人間力”
- ② 周りを取り巻く文化と社会に関する知識とその理解を可能とする“知力”
- ③ 医学、工学、情報を融合した医療テクノロジーを身に着け、高度先進医療に貢献できる“技術力”
- ④ チーム医療の一員として医療・保健・予防・福祉のあらゆる分野の担い手として他の医療分野と協力できる“コミュニケーション力”

学科の特色

1. 「医学と工学の知識や技能」と「チーム医療の一員としての責任」

臨床経験豊富な臨床工学系教員と教育経験豊富な工学系教員がバランスよく配置され、従来の臨床工学のみならず時代のニーズに応えるべくサイバーセキュリティーや医療機器のIT化、ロボット化に対応できる人材育成を目指します。

2. 幕張新都心に開設するキャンパスの活用

高度な人材を育む学術・教育・産業機能が集中し、さらに発展を続ける幕張新都心です。
 学習環境・施設に恵まれており、地の利を活かし、優れた教員を集め、多数の教育機関、医療施設、行政庁等と連携して、大学教育を行います。

3. 入学から次の進路までの充実したサポート体制

大学生生活を意欲的に取り組めるよう、チューター制を採用します。
 この制度では、教員が履修指導をはじめ、生活の様々な事柄、国家試験や就職面等の将来の目標に向かっての相談に応じます。

学びの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学 び の 内 容	科学的な考え方の基礎を作り、臨床工学を学ぶ上に必要な医学・工学的要素を身に着けます	⇒	⇒	⇒
科 目 ・ 実 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンケア概論 ・医用工学概論 ・医学概論 ・解剖生理学 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気・電子工学 ・臨床医学総論 ・医用機器安全管理学 ・情報処理技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・生体機能代行技術学 ・人工臓器概論 ・医療機器情報管理学 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習 ・卒業研究 ・医療テクノロジー特別講義

卒業後の進路

卒業生は、病院やクリニックなどで**メディカルスタッフ**として就職する他、その知識と技術力を生かして、医療機器メーカーをはじめとする企業の**開発・研究・製造・販売などの部門**への就職が予想されます。
 また、更に専門性を深めるために、**大学院への進学**も選択でき、専門学校や大学での教育にたざさわることも予想されます。

※ 上記は構想中の概要であり、変更となる場合があります。

問4

貴機関・貴社において、大卒の臨床工学技士を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。
(あてはまるものすべてに○をしてください。)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| 1. コミュニケーション能力 | 2. 基礎的な学力 | 3. 語学力 |
| 4. 創造的思考力 | 5. 主体性・自律性 | 6. 目的達成志向 |
| 7. 適応力 | 8. インターンシップ経験 | 9. ボランティア経験 |
| 10. 忍耐力 | 11. 理解力 | 12. 論理力 |
| 13. ITスキル | 14. その他 () | |

問5

貴機関・貴社における、臨床工学技士の充足状況についてお答えください。(あてはまるもの1つに○をしてください。)

1. 大きく不足している
2. やや不足している
3. 適度に充足している
4. 過剰である
5. わからない

問6

貴機関・貴社における、大卒の臨床工学技士の今後の採用方針についてお答えください。
(あてはまるもの1つに○をしてください。)

1. 積極的に採用していきたい
2. 採用枠に余裕があれば採用したい
3. 大卒の臨床工学技士は採用しない
4. わからない

問7以降は、2ページ「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科(仮称)の概要」をご覧の上でお答えください。

問7

東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 臨床テクノロジー学科(仮称)」が養成する人材は地域的および社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つに○をしてください。)

1. ニーズは極めて高い
2. ニーズはある程度高い
3. どちらとも言えない
4. ニーズは高くない

問8 東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」を卒業した人材を、将来、臨床工学技士として採用したいと思われませんか。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

1. 採用したい
2. 採用を検討したい
3. どちらとも言えない
4. 採用しない

問9 問8で「採用したい」「採用を検討したい」と回答した方は、採用可能であると思われる人数をお答えください。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上
6. 人数は未確定

問10 東都大学が設置構想中の「幕張ヒューマンケア学部 医療テクノロジー学科（仮称）」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。